

『情報モラル』 指導事例集



第3版

2009.11.01

岩手県立総合教育センター 情報教育担当

http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/moral/joho_site/index.html

【指導事例集と指導項目対応表】

No	校種			対象		指導項目										教材			端末		備考
	小学校	中学校	高等学校	学年	保護者	有害サイト	掲示板	情報の信憑性	電子メール	ネットオークション	電子商取引	ネットワークのしくみ	パスワード	プロフィールサイト	個人情報	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	PC	無線LAN携帯電話	
小ー1	●			56	●	●	●					●				●			●		
小ー2	●			56	●	●	●					●				●			●		
小ー3	●			6		●						●			●	●			●		
小ー4	●			6		●						●			●			●		●	
小ー5	●			6		●						●			●	●			●		
小ー6	●			6		●						●			●	●			●		
中ー1		●		3	●	●	●					●				●			●		
中ー2		●		3		●	●					●			●	●			●		
中ー3		●		23		●	●					●			●			●		●	
中ー4		●		23		●	●		●			●			●		●		●		
高ー1			●	1			●							●	●			●		●	
高ー2			●	1		●	●					●			●	●			●		
高ー3			●	1		●	●					●			●	●			●		
高ー4			●	3		●	●					●			●			●		●	
高ー5			●	12		●	●					●			●	●			●		
高ー6			●	2						●		●				●			●		
高ー7			●	1			●					●	●			●			●		
高ー8			●	2					●		●	●				●			●		

【参考 URL】

■岩手県立総合教育センター Web ページ

<http://www1.iwate-ed.jp/>

■教材「情報サイト」

http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/moral/joho_site/index.html

■教材「スタモバ」

<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/moral/sutamoba/index.html>

											小ー 1	
校種	小 中 高 特				学年	1 2 3 4		5	6	保護者		
内容	インターネット利用上の注意						教育課程		総合的な学習の時間			
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト		端末	PC	無線LAN携帯電話			
キーワード		有害サイト 掲示版 ネットワークのしくみ Google Earth										

I 題材名 「インターネット利用上の注意」

II 主題設定の理由

現代社会は情報化が急速に進み、小学生でも電子メールのやりとりや、Webページの作成をするようになってきている。一方、子どもたちが被害者となるインターネット関連の事件も爆発的に増加している。それらは「情報社会において、適正な活動を行うための基になる考え方と態度」つまり情報モラルの欠如に原因の一端があると思われる。子どもたちに社会生活上のモラルを教えることは、教育の本来の目的であり、これまで家庭や地域社会、そして学校で行ってきた。しかし、現時点では多くの保護者にとって情報化は新しい社会の変化であり、情報モラルの知識も十分にあるとは言えない。それゆえ、現在、急務となっている情報モラルの育成は、学校教育がその責任を負わなければならないのである。

子どもたちの世界では、テレビゲームは男女の差なくほとんど全員が親しんでいる遊びであり、中学生になると、携帯電話がコミュニケーションの重要な道具となっている。近年、どちらもインターネットへの対応が主流となり、子どもたちのインターネット利用は必然となってきている。しかし、残念ながら多くの子どもたちが情報モラルを十分に知らないままコンピュータや携帯電話を利用しているのが現状である。

義務教育9年間の中で、学年に応じて情報モラル指導がカリキュラム化されていることが望ましいのであるが、現実はそのままで至っていない。そこで、問題発生が最も予想されるインターネット利用について指導をしなければならないと考えた。今回の授業後も、インターネットの利用時には毎回注意を促し、情報モラルについて意識させて、行動につなげていきたいと考える。

III 指導目標

インターネットの便利さと危険性を理解させ、望ましいインターネットの使い方を身につけさせることにより、情報社会に適切に参画する態度を育てる。

IV 指導構想

本主題は「総合的な学習の時間」の一部として実施する。

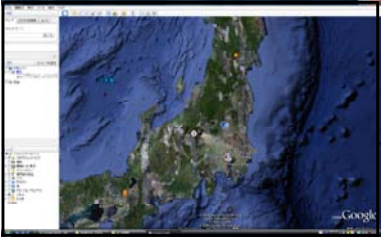

今回取り上げる情報モラルの内容は、平成18年度の「体験的な学習活動を取り入れた情報モラルの指導に関する研究」をもとに指導を行う。


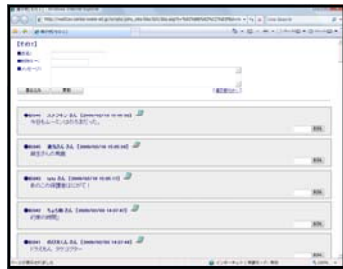
V 本時の学習指導

1 本時のねらい

- (1) あやしいページ（有害サイト）に出会ってしまったときの対処ができる。
- (2) ネットコミュニケーションについて関心を持ち、利用上の注意点について指摘できる。
- (3) インターネット利用について、親子で話し合わせる。

2 本時の展開

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (*留意点 ★教材 ●評価)
導入 5分	1. インターネット利用の経験を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭でのインターネットの利用について振り返り、アンケートに記入する。 学級内の集計を見て、多くの人がインターネットを利用していることを知る。 	マウス、文字入力ができるかを確認する。 ★アンケート
	2. 本時の学習内容を知る	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をプリントに記入する。 	
児童：インターネットを利用するときの注意 保護者：インターネットの危険から子どもを守ろう			
展 開 35分	3. インターネットのしくみを知る	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの向こう側にも人間がいることを知る。 	*インターネットは全世界に広がるネットワークであることを説明する。
		<ul style="list-style-type: none"> Google Earthまたは、世界各地のYahoo!を見てインターネットは全世界につながっていることを知る。 	*インターネットの向こう側に人がいることを説明する。 *Google Earth(Yahoo!) から世界各地の映像を見せ、世界の情報を見ることができていることを説明する。
			
	4. あやしい(有害)サイトに出会ったときの対処を考える	<ul style="list-style-type: none"> アダルトサイトのページが出たらどうしたらよいのか発表する。 	*児童と保護者から対処方法を発表させる。
			
		<ul style="list-style-type: none"> Web教材で対処方法を体験する。 ゲームサイトからのダウンロードについて考えて発表する。 対処方法を聞く。 	★Web教材「ゲームは面白い」 *児童にはダウンロードしてはいけないことを指導する。 *保護者にはウィルス対策ソフトの必要を説明する。 ●有害サイトに出会ったとき適切な対処方法を行うことができたか。
	5. 掲示板を利用してみる	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板等への書き込みの注意を発表する。 	*インターネットが世界につながっていることを思い出させる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「好きな食べ物」について意見を 書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★スレッド式掲示板 ●積極的に書き込みをしている か。 ●適切な内容で書いているか。
6. ネットワークで 情報の伝わるし くみを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバに情報が全て記録されてい ることを知る。 ・発言者や記入内容が特定できるこ とを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見ているWebページのURLも記録さ れていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★サーバの記録の一部を提示して 誰の発言であるか分かることを 話す。 *携帯電話も同様のしくみである ことを説明する。 
7. ネットコミュニ ケーションの注 意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションの注意 点を確認する。 ①自分のことは自分で守る ②他人に迷惑をかけない ③自分の書いたことに責任を持つ ④感情的にならない 	★「ネットコミュニケーションの マナー」を説明する。	
終末 5分	8. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習について、プリントに 記入する。 	*指名して発表させる。

											小－2	
校種	小 中 高 特				学年	1 2 3 4 5 6				保護者		
内容	親子で学ぶインターネット・携帯電話の危険性					教育課程						
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト		端末	P C		無線LAN携帯電話		
キーワード	無料ダウンロード 不正請求 有害サイト 掲示板 ネットワークのしくみ											

1 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増しています。2004年の「佐世保女児殺害事件」では掲示板への書き込みが引き金となり、2007年7月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われました。

ネット上には、有害情報も氾濫し、少女を誘う出会い系サイトや、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、他人の誹謗や中傷が掲載されているサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在します。平成18年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における18歳未満の被害児童は全国で1,153人に上っています。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができる教材「情報サイト」を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援しています。

本日は、この教材「情報サイト」を用いて、次の「今日の学習のねらい」に掲げた4つの目標をめざして「有害サイト」や「掲示板」の疑似体験を行います。



なお、情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材「情報サイト」は、その多くについて取り扱えるように開発しています。

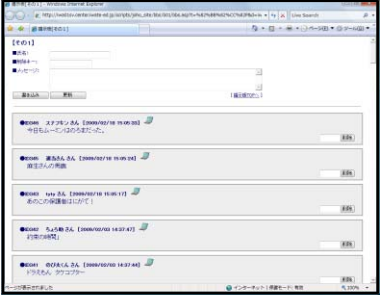
今回の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安全と安心の確保」の一助となることを切に願っているところです。

2 今日の学習のねらい

- (1) インターネットは便利な道具ですが、インターネット上には、不正な請求をするホームページに誘導したり、コンピュータウィルスに感染したりする有害なホームページがあることを体験します。
- (2) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「もどるボタンをクリックすること」や「閉じるボタンをクリックすること」、場合によっては、「コンピュータの電源を切って家族に報告すること」を学習します。
- (3) インターネットの「掲示板」や「チャット」を利用したトラブルが急増していますが、この「掲示板」や「チャット」がどのようなものか、今日は「掲示板」を例に疑似体験してみます。
- (4) やや難しい内容ですが、「掲示板」の科学的なしくみについて学習し、インターネットを利用するときのルールやマナーを考えます。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点
導入 5分	1. 日常生活に便利なインターネット 2. 有害サイトの疑似体験1 (ウイルス) 3. 本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図」や「天気予報」など、インターネットの便利な機能を体験する。 ・無料ダウンロードのホームページからコンピュータウィルスの感染を体験する。 ・今日の学習のねらいを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材は授業者が自由に選択する。 ・展開への契機とし深入りしない。 ・インターネットには危険なホームページが潜んでおり、下校後に生徒が家で一人で利用しているとき偶然遭遇するかもしれないことに触れる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○インターネットの危険性を（疑似）体験し、危険回避の方法を考えよう</p> <p>○インターネットに情報を発信するときのルールやマナーを考えよう</p> </div>
展開 35分	4. 有害サイトの疑似体験2 (不正請求) 5. 有害サイトのしくみと回避方法 6. 「掲示板」の疑似体験	<ul style="list-style-type: none"> ・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。 ・「ウイルス感染」や「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「戻るボタン」か「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する。 ・「掲示板」の利用方法の説明を聞き、ハンドルネームを利用して「掲示板」に「我が家の自慢話」を書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。 ・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することやボタンをクリックしなくてもウイルスに感染するホームページが存在することにも触れる。 ・掲示板や携帯電話による被害状況を説明する。 *ハンドルネーム…匿名 ・できるだけ自由に書き込みをさせる。 

			
	<p>7. 管理者サイトから見える「掲示板」のしくみ</p> <p>8. 情報を発信するときのルールやマナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板の管理者サイトには、利用者のコンピュータを特定できる情報が記録・保存されていることについての説明を聞く。 ・ インターネットに情報を発信するときのルールやマナーについて話し合い発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。 ・ 自由に話し合わせながら、自分の考えをプリントにまとめさせて生徒2～3名に発表させる。
終 末 5 分	9. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータが便利な道具であることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒によるコンピュータの活用例を提示しながら、本時のまとめを行う。

【自由に参観を】

教材「情報サイト」を活用した情報モラルの学習は、交通安全教室に似ています。今日の授業では、ぜひ、児童生徒のそばでインターネットの世界を疑似体験してください。

そして、できれば、偶然「有害サイト」に遭遇したらどうしたらよいか、インターネットを利用するときのルールやマナーなどについて、児童生徒の相談相手として話しかけてください。

子ども達に、自転車の安全な乗り方をみんなで教えることと同じです。授業の妨げとはなりませんので、生徒に寄り添う形で、自由にご参観ください。

										小－3	
校種	小 中 高 特			学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	インターネットの危険性						教育課程		総合的な学習の時間		
教材	情報サイト		スタモバ	携帯版情報サイト			端末	P C		無線LAN携帯電話	
キーワード	無料ダウンロード 有害サイト 占いサイト 個人情報 ネットワークのしくみ										

1 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増しています。2004年の「佐世保女子殺害事件」では掲示板への書き込みが引き金となり、2007年7月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われました。

ネット上には、有害情報も氾濫し、少女を誘う出会い系サイトや、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、他人の誹謗や中傷を載せたサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在します。平成18年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における18歳未満の被害児童は全国で1,153人に上っています。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができる教材『情報サイト』を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援しています。

本日は、この教材『情報サイト』を用いて、次の「今日の学習のねらい」に掲げた4つの目標をめざして「有害サイト」と「占いサイト」の疑似体験を行います。




なお、情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材『情報サイト』は、その多くについて取り扱えるように開発しています。


今回の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安心と安全の確保」の一助となることを切に願っているところです。

2 今日の学習のねらい

- (1) インターネットは便利な道具ですが、インターネット上には、不正な請求をするホームページに誘導したり、コンピュータウィルスに感染したりする有害なホームページがあることを体験します。
- (2) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「もどるボタンをクリックすること」や「閉じるボタンをクリックすること」、場合によっては、「コンピュータの電源を切って家族に報告すること」を学習します。
- (3) 教材の「占いサイト」を利用することで、個人情報を自ら、流出していることを疑似体験してみます。
- (4) 匿名性が特徴のインターネットですが、「ネットワーク」の科学的なしくみ、特にIPアドレスについて学習し、書き込み等がされたコンピュータが特定することができることを学習します。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点
導入 10分	1. インターネットの利用状況	・インターネット利用に関するアンケート調査の結果を確認する。	・事前にとったアンケート結果を提示する。
	2. 有害サイトの疑似体験1 (ウイルス)	・無料ダウンロードのホームページからコンピュータウィルスの感染を体験する。	・インターネットには危険なホームページが潜んでおり、下校後に生徒が家で一人で利用しているとき偶然遭遇するかもしれないことに触れる。 
	3. 本時のねらい	・今日の学習のねらいを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○インターネットの危険性を（疑似）体験し、危険回避の方法を考えよう ○インターネット上で個人情報を扱う時の注意点を考えよう </div>		
展開 30分	4. 有害サイトの疑似体験2 (不正請求)	・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。 	・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。
	5. 有害サイトのしくみと回避方法	・「ウイルス感染」や「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「戻るボタン」か「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する	・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することやボタンをクリックしなくてもウイルスに感染するホームページが存在することにも触れる。
	6. 「占いサイト」の疑似体験	・「占いサイト」で、「名前」「星座」「メールアドレス」「電話番号」「相性」のそれぞれ占いを体験する。	・できるだけ自由に利用させる。 

	<p>7. 管理者サイトから見える「占いサイト」のしくみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「占いサイト」の管理者サイトには、入力された個人情報が記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集された個人情報が、不正請求等の宛先になることにも触れる。 
	<p>8. インターネットのくしみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用しているコンピュータの「IPアドレス」を調べ、管理者サイトには記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。
<p>終末 5 分</p>	<p>9. まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが便利な道具であることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの活用例を提示しながら、本時のまとめを行う。

										小ー4	
校種	小 中 高 特			学年	1 2 3 4 5 6					保護者	
内容	インターネットの危険性（携帯電話）					教育課程		総合的な学習の時間			
教材	情報サイト			スタモバ		携帯版情報サイト		端末	P C		無線LAN携帯電話
キーワード		携帯電話 有害サイト 占いサイト 個人情報 ネットワークのしくみ									

1 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、インターネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増しています。2004年の「佐世保女子児童殺害事件」では掲示板への書き込み、2007年7月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われました。

ネット上には、有害情報も氾濫し、児童生徒を誘う出会い系サイト、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、誹謗や中傷が掲載されているサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在します。平成18年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における18歳未満の被害児童は全国で1,153人に上っています。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができるコンピュータ教材『情報サイト』を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援しています。

本日は、児童生徒にとって、より身近にインターネットを体験するツール「携帯電話」を実際に用いて授業を行います。ハード面においては、NEC製の無線LAN対応携帯電話「N900iL」を用いて、独自の無線LAN（WLAN）システムを構築します。ソフト面については、本授業実践に向けて岩手県立総合教育センターで開発したものを使用します。


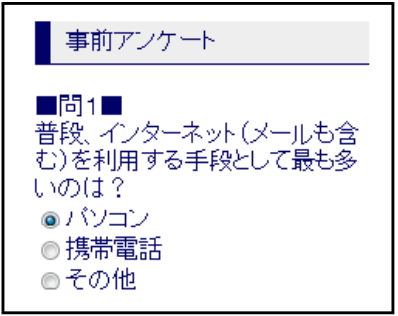
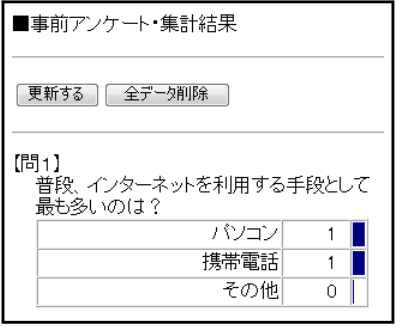
情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材『情報サイト』は、その多くについて取り扱えるように開発しています。

今回の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安全と安心の確保」の一助となることを切に願っているところです。

2 今日の学習のねらい

- （１）有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「閉じるボタンをクリックすること」を学習します。
- （２）教材の「占いサイト」を利用することで、個人情報を自ら、流出していることを疑似体験してみます。
- （３）匿名性が特徴のインターネットですが、「ネットワーク」の科学的なしくみ、特にIPアドレスについて学習し、書き込み等がされたコンピュータが特定することができることを学習します。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点
導入 10分	1. インターネットの利用状況	<ul style="list-style-type: none"> インターネット利用に関するアンケート調査の結果を確認する。 	<p>★携帯電話（N900iL）の配布</p>  <ul style="list-style-type: none"> 利用傾向をグラフで提示する。
		<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート（携帯版）に回答する。 	<p>★教材「事前アンケート」</p>  <p>★教材「集計表示」</p> 
	2. 本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習のねらいを確認する。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○インターネットの危険性を疑似体験し、危険回避の方法を考えよう</p> <p>○インターネット上での個人情報扱う時の注意点を考えよう</p> </div>		
展開 30分	3. 有害サイトの疑似体験（不正請求）	<ul style="list-style-type: none"> 「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。

★教材「アダルトサイト」



★教材「不正請求ページ」

【利用料請求】

ご利用ありがとうございます。IPアドレスを登録させていただきます。入会手続きを完了しました。

ご利用期間:30日間
ご利用料金:¥12,000

【ご登録情報】

4. 有害サイトのしくみと回避方法

・「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する。

・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することにも触れる。

5. 「占いサイト」の疑似体験

・「占い」について投票する。

★教材「ディベートサイト」

【お題】
あなたは、「占い」を信じますか？

最新情報に更新

賛成

09:

05:

反対

・「占いサイト」で「名前」「星座」「メールアドレス」「電話番号」「相性」のそれぞれを体験する。

・できるだけ自由に利用させる。
★教材「占いサイト」



6. 管理者サイトから見える「占いサイト」のしくみ

・「占いサイト」の管理者サイトには、入力された個人情報が記録・保存されていることについての説明を聞く。

・収集された個人情報が、不正請求等の宛先になることにも触れる。

★教材「情報記録ページ」

★教材「情報記録ページ」

■お悩み相談 アダルトサイト 管理画面

お悩み相談 アダルトサイト 管理画面

ID	IP	ユーザエージェント	名前	生年月日	メールアドレス	性別	利用日時	操作
486	150.138.11.2	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows 7.0)	匿名	1990/01/01	1990/01/01 21:00:00	男性		
487	150.138.11.2	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows 7.0)	匿名	1990/01/01	2008/10/07 21:00:00	男性		
488	150.138.11.2	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows 7.0)	匿名	1990/01/01	2008/10/07 21:00:00	男性		
489	150.138.11.2	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows 7.0)	匿名	1990/01/01	2008/10/07 21:00:00	男性		
490	150.138.11.2	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows 7.0)	匿名	1990/01/01	2008/10/07 21:00:00	男性		

	7. インターネットのくしみ	<ul style="list-style-type: none"> 各自使用している携帯電話の「IPアドレス」を調べ、管理者サイトには記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。 <p>★教材「PC情報取得」</p> <div> <p>IP確認ページ</p> <hr/> <p>●あなたのIPアドレス: 10.94.250.146</p> <hr/> <p>●あなたの端末情報: Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 6.0; SLCC1; .NET CLR 2.0.50727; Media Center PC 5.0; .NET CLR 3.0.04506; InfoPath2)</p> </div>
終 末 5 分	8. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話が危険な道具になり得ることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 事後アンケートに回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを行う。 <p>★教材「事後アンケート」</p> <div> <p>事後アンケート</p> <p>■問1■ 今日の授業の内容は、分かりやすかったですか？</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <hr/> <p>■問2■ 今日の授業を受けて、今後更に、ネット利用に気をつけていこうと思いましたが？</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p><input type="button" value="回答する"/></p> </div>
教材利用の留意点		<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話利用時のURL入力、QRコードをバーコードリーダーにより行う。 バーコードリーダーが読み取りにくいときには、カメラをマクロモードに設定する。 	

【配布物】

- ・学習プリント
- ・事後アンケートプリント
- ・携帯電話操作説明プリント

【使用教材】

- ・無線LAN対応携帯電話（N900iL×40台＋α）及び無線LAN（WLAN）サーバシステム
- ・開発教材「情報サイト」ケータイ・バージョン

						小－5
校種	小 中 高 特	学年	1	2	3	4 5 6
内容	コンピュータや携帯電話についての安全指導			教育課程		
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	PC	無線LAN携帯電話
キーワード	無料ダウンロード 有害サイト 掲示板 ネットワークのしくみ					

1 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増している。2004年の「佐世保女児殺害事件」では掲示板への書き込みが引き金となり、2007年7月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われた。

ネット上には、有害情報も氾濫し、少女を誘う出会い系サイトや、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、誹謗や中傷が掲載されているサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在する。平成18年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における18歳未満の被害児童は全国で1,153人に上っている。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができる教材「情報サイト」を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援している。

本日は、この教材「情報サイト」を用いて、次の「今日の学習のねらい」に掲げた4つの目標をめざして「有害サイト」や「掲示板」の疑似体験を行う。

なお、情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材「情報サイト」は、その多くについて取り扱えるように開発している。



今回の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安全と安心の確保」の一助となることを切に願っているところである。


2 今日の学習のねらい

- (1) インターネットは便利な道具ですが、インターネット上には、不正な請求をするホームページに誘導したり、コンピュータウィルスに感染したりする有害なホームページがあることを体験する。
- (2) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「もどるボタンをクリックすること」や「閉じるボタンをクリックすること」、場合によっては、「コンピュータの電源を切って家族に報告すること」を学習する。
- (3) 「占いの館」の利用と、提示された管理者サイトの説明から、無意識に名前や誕生日等の個人情報流出させている場合があることを体験する。
- (4) 「占いの館」を例に、管理者側のコンピュータには、いつ、どのコンピュータから、どのような書き込みがされたか記録されているという説明をするとともに、教材を利用して自分が使用しているコンピュータの個別情報を確認する。

* 「ネット社会や携帯電話の危険性を体験的に気づかせること」を重視していることから、以上のような対処法的な内容を設定したが、インターネットを利用する際に大切な力は、個々の「判断力」「自制心」「責任力」と言われている。この3つの力の指導は今後の指導の中でお願いしたい。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点
導入 10分	1. 日常生活に便利なインターネット	・インターネットの利便性について説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・題材は授業者が自由に選択する。 ・展開への契機とし深入りしない。 ・インターネットには危険なホームページが潜んでおり、下校後に生徒が家で一人で利用しているとき偶然遭遇するかもしれないことに触れる 
	2. 有害サイトの疑似体験1 (ウイルス)	・無料ダウンロードのホームページからコンピュータウィルスの感染を体験する。	
	3. 本時のねらい	・今日の学習のねらいを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○インターネットの危険性を（疑似）体験し、危険回避の方法を考えよう</p> <p>○インターネットに情報を発信するときのルールやマナーを考えよう</p> </div>		
展開 30分	4. 有害サイトの疑似体験2 (不正請求)	・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 
	5. 有害サイトのしくみと回避方法	・「ウイルス感染」や「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「戻るボタン」か「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。 ・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することやボタンをクリックしなくてもウイルスに感染するホームページが存在することにも触れる。 ・掲示板や携帯電話による被害状況を説明する。
	6. 占いサイトを体験し、個人情報が流出することを知る	・占いサイトに個人情報を入力する	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に説明する。 ・犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。 ・携帯電話も同じしくみであることに触れる。
		・管理者サイトにより、自ら名前や誕生日等の個人情報を流出していることを確認する。	

	<p>7. 管理者サイトからインターネットを利用してコンピュータが特定されることを知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占いの管理者サイトにコンピュータが特定できるデータがあることを確認する。 ・ 教材を利用し、自分のコンピュータのIPアドレスを確認する。 ・ 入力された個人情報とIP情報等が一元的に記録されていることを説明から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教材活用（体験）」に重点を置く授業では割愛する。 
	<p>8. 情報を発信するときのルールやマナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を発信するときのルールやマナーについて話し合う。 	
終末 5分	<p>9. まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータが便利な道具であることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒によるコンピュータの活用例を提示しながら、本時のまとめを行う。

—— 【自由に参観を】 ——

教材「情報サイト」を活用した情報モラルの学習は、交通安全教室に似ています。今日の授業では、ぜひ、児童生徒のそばでインターネットの世界を疑似体験してください。

そして、できれば、偶然「有害サイト」に遭遇したらどうしたらよいか、インターネットを利用するときのルールやマナーなどについて、児童生徒の相談相手として話しかけてください。

子ども達に、自転車の安全な乗り方をみんなで教えることと同じです。授業の妨げとはなりませんので、生徒に寄り添う形で、自由にご参観ください。

											小－6	
校種	小 中 高 特				学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	インターネット利用上の注意							教育課程		総合的な学習の時間		
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト			端末	P C		無線LAN携帯電話	
キーワード	ストリートビュー 有害サイト 占いサイト ネットワークのしくみ											

I 題材名 「インターネット利用上の注意」

II 主題設定の理由

現代社会は情報化が急速に進み、小学生でも電子メールのやりとりや、Webページの作成をするようになってきている。一方、子どもたちが被害者となるインターネット関連の事件も爆発的に増加している。それらは「情報社会において、適正な活動を行うための基になる考え方と態度」つまり情報モラルの欠如に原因の一端があると思われる。子どもたちに社会生活上のモラルを教えることは、教育の本来の目的であり、これまで家庭や地域社会、そして学校で行ってきた。しかし、現時点では多くの保護者にとって情報化は新しい社会の変化であり、情報モラルの知識も十分にあるとは言えない。それゆえ、現在、急務となっている情報モラルの育成は、学校教育がその責任を負わなければならないのである。

子どもたちの世界では、テレビゲームは男女の差なくほとんど全員が親しんでいる遊びであり、中学生になると、携帯電話がコミュニケーションの重要な道具となっている。近年、どちらもインターネットへの対応が主流となり、子どもたちのインターネット利用は必然となってきている。しかし、残念ながら多くの子どもたちが情報モラルを十分に知らないままコンピュータや携帯電話を利用しているのが現状である。

義務教育9年間の中で、学年に応じて情報モラル指導がカリキュラム化されていることが望ましいのであるが、現実はそのままで至っていない。そこで、問題発生が最も予想されるインターネット利用について指導をしなければならないと考えた。今回の授業のあとは、インターネットを利用した授業の中で毎回注意をして、情報モラルについて意識させて、行動につなげていきたいと考える。

III 指導目標

インターネットの便利さと危険性を理解させ、望ましいインターネットの使い方を身につけさせることにより、情報社会に適切に参画する態度を育てる。

IV 指導構想

本主題は「総合的な学習の時間」の一部として実施する。

今回取り上げる情報モラルの内容は、平成15～16年度の「小・中学校における情報モラル指導の在り方に関する研究」をもとに、体験的な学習を取り入れた指導を行うこととした。

V 指導計画




インターネット利用上の注意（有害サイトや不正請求への対応、個人情報の保護）

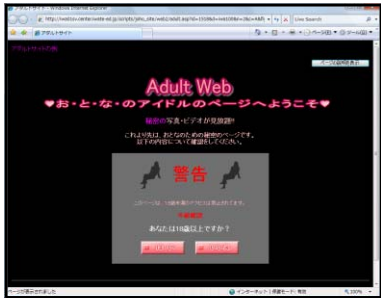
VI 第1時の学習指導

1 本時のねらい

- (1) インターネットでは情報のやりとりが行われ、双方向通信であることがわかる。
- (2) あやしいページ（有害サイト）に出会ってしまったときの対処ができる。
- (3) 個人情報を抜き取られる体験をし、個人情報を簡単に書き込まない態度を養う。

2 本時の展開

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (*留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分			★管理者ページからメニューの表示を限定しておく。 (TOP、占いの館、ディベートサイト、インターネット検索、PC情報取得) ★「情報サイト」「占いの館」を開いておく。
	1. 占いサイトを利用させながら、マウス、キーボード、ウィンドウの操作ができるかどうか確認する	・マウスのクリック、キーボードからの文字入力スキル、ブラウザソフトのウィンドウの表示の操作について基本的な使い方を確認する。 ・ディベートサイトを利用して、「占いサイト」を利用したいか集約する。(1回目) 	＊マウスのクリックがダブル又は連続にならないように声をかける。 ★「占いの館」を終了させる。 ★「ディベートサイト」を開かせる。 ★「ディベートサイト」を終了させる。 ＊管理者画面からデータを削除する。ただし、賛成・反対の数値は黒板に書いておく。
展開 30分	2. 本時の学習内容を知る	・本時の学習内容をプリントに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">インターネットを利用するときに注意することを知ろう</div>	＊学習内容を知らせる。
	3. インターネットのしくみを知る	・Google マップのストリートビュー機能により、修学旅行での旅程の一部を再現することにより、たくさんの情報の中から欲しい情報を得ることができることを知る。 	＊インターネットは双方向でデータのやりとりが行われていることを知らせる。
	4. あやしい(有害)サイトに会ったときの対処を考える	・正しい情報を得るための方法を考え発表する。 ・あやしい(有害)サイトに会ったらどうしたらよいのか発表する	★「アダルトサイト」を開かせる。 ＊あやしい(有害)サイトに会ったときの対処を考えさせる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・対処方法を聞く。 ・有害サイトとは何かの説明を聞く。 ・ウイルス感染や情報漏洩についての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有害サイトが出てしまったら、どこをクリックすればよいのか提示して説明する。 ＊有害サイトの定義を説明する。 ＊ウイルス感染や情報漏洩など、有害サイトの危険性について説明する。 ★「アダルトサイト」を終了させる。
	5. 個人情報の保護の大切さを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・「占いサイト」の目的を考える ・個人情報を公開することによる事件やトラブルを知り、保護の大切さを理解する。 	＊個人情報は公開することなく、自分で守ることが大切であることを説明する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートサイトを利用して、「占いサイト」をまたやりたいか集約する。(2回目) 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ディベートサイト」を開かせる。 ＊1回目の結果と比較をしてみる。
終末 5 分	6. まとめ 7. 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習について、プリントに記入する。 	＊今日の学習をプリントに記入させて確認する。

											中－ 1		
校種	小 中 高 特				学年	1 2 3 4 5 6		保護者					
内容	親子で学ぶ情報モラル						教育課程						
教材	情報サイト スタモバ 携帯版情報サイト						端末	P C 無線 L A N 携帯電話					
キーワード	有害サイト 掲示板 ネットのしくみ												

1 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増している。2004年の「佐世保女児殺害事件」では掲示板への書き込みが引き金となり、2007年7月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われた。

ネット上には、有害情報も氾濫し、少女を誘う出会い系サイトや、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、誹謗や中傷を載せたサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在します。平成18年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における18歳未満の被害児童は全国で1,153人に上っている。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができる教材「情報サイト」を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援している。

今日は、この教材「情報サイト」を用いて、次の「今日の学習のねらい」に掲げた4つの目標をめざして「有害サイト」や「掲示板」の疑似体験を行う。



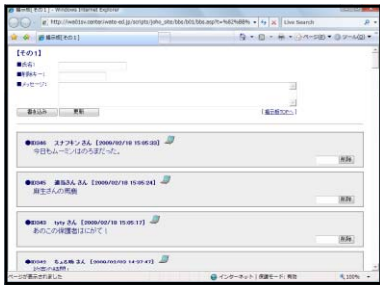
なお、情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材「情報サイト」は、その多くについて取り扱えるように開発している。


今日の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における生徒の安全と安心の確保」の一助となることを切に願っているとこである。

2 今日の学習のねらい

- (1) インターネットは便利な道具であるが、インターネット上には、不正な請求をするホームページに誘導したり、コンピュータウィルスに感染したりする有害なホームページがあることを体験する。
- (2) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「もどるボタンをクリックすること」や「閉じるボタンをクリックすること」、場合によっては、「コンピュータの電源を切って家族に報告すること」を学習する。
- (3) インターネットの「掲示板」や「チャット」を利用したトラブルが急増しているが、この「掲示板」や「チャット」がどのようなものか、今日は「掲示板」を例に疑似体験する。
- (4) やや難しい内容であるが、「掲示板」の科学的なしくみについて学習し、インターネットを利用するときのルールやマナーを考える。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点
導入 10分	1. 日常生活に便利なインターネット	・「地図」や「連休中の天気予報」など、インターネットの便利な機能を体験する。	・保護者のリクエストに生徒に伝えさせる。 ・コンピュータ室の環境により題材をかえる場合もあり得る。
	2. 有害サイトの疑似体験1 (ウイルス)	・無料ダウンロードのホームページからコンピュータウィルスの感染を体験する。	・インターネットには危険なホームページが潜んでおり、下校後生徒が家で一人で利用しているとき偶然遭遇しているかもしれないことを伝えたい。 
	3. 本時のねらい	・今日の学習のねらいを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ○インターネットの危険性を（擬似）体験し、危険回避の方法を考えよう ○インターネットに情報を発信するときのルールやマナーを考えよう </div>		
展開 35分	4. 有害サイトの疑似体験2 (不正請求)	・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。 	・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせたい。 ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明したい。
	5. 有害サイトのしくみと回避方法	・「ウイルス感染」や「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「戻るボタン」か「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する。	・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することやボタンをクリックしなくてもウイルスに感染するホームページが存在することにも触れる。
	6. 「掲示板」の疑似体験	・「掲示板」の利用方法の説明を聞き、ハンドルネームを利用して「掲示板」に「我が家の自慢話」を書き込む。	＊ハンドルネーム…匿名 ・できるだけ自由に書き込みさせる。 

	<p>7. 管理者サイトから見える「掲示板」のしくみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の管理者サイトには、利用者のコンピュータを特定できる情報が記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。 
	<p>8. 情報を発信するときのルールやマナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットに情報を発信するときのルールやマナーについて話し合い発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に話し合わせながら、自分の考えをプリントにまとめさせて生徒2～3名に発表させる。
<p>終末 5分</p>	<p>9. まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが便利な道具であることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒によるコンピュータの活用例を提示しながら、本時のまとめを行いたい。 ・利用を制限するのではなく、使い方が大事であることを強調したい。

【自由に参観を】

教材「情報サイト」を活用した情報モラルの学習は、交通安全教室に似ています。今日の授業では、ぜひ、生徒のそばでインターネットの世界と一緒に疑似体験してください。

そして、できれば、偶然「有害サイト」に遭遇したらどうしたらよいか、インターネットを利用するときのルールやマナーなどについて、生徒の相談相手として話しかけてください。

子ども達に、自転車の安全な乗り方をみんなで教えることと同じです。授業の妨げとはなりませんので、生徒に寄り添う形で、自由にご参観ください。

											中－2	
校種	小 中 高 特				学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	情報モラルとコンピュータの利用							教育課程				
教材	情報サイト スタモバ 携帯版情報サイト							端末	PC		無線LAN携帯電話	
キーワード		掲示板 有害サイト 占いサイト 個人情報 ネットワークのしくみ										

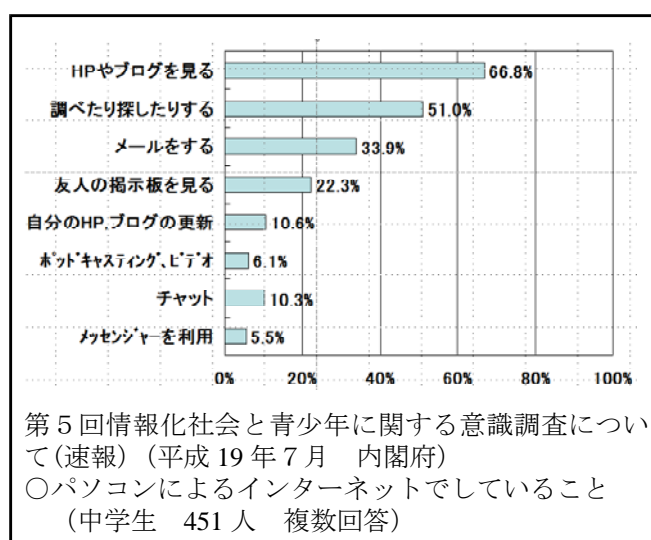
I 主題名 情報モラルとコンピュータの利用

II 主題設定の理由

内閣府が平成19年7月に発表した「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査について(速報)」(中学生451人)では、68.7%の生徒がインターネットを利用し、56.3%が携帯電話等でインターネットを利用しており、右のグラフのように、ホームページ(HP)やブログを見るが66.8%、自分のHP、ブログの更新を行っている生徒は10.6%と報告されている。つまり10人に1人が自分のページを持っていると考えられる。

授業においてもコンピュータやインターネットを活用した調べ学習などが行われている。利用が進む一方で、「有害なページへのアクセス」、「個人情報の漏洩」、「著作権・肖像権の侵害」、「メールによる言葉の行き違いによるトラブル」など、生徒たちの周りにさまざまな問題が発生している。

そこで、情報社会に参画する態度について取り上げ、具体的な体験をさせながら、情報の伝達方法に関して理解させるとともに、ネット上のルールとマナーについて意識を高めさせ、情報社会との適切な関わり方について考えさせたい。



III 指導目標

インターネットのしくみと情報モラルについて理解させ、望ましいインターネットの使い方を身につけさせることにより、情報社会に参画する態度を育てる。

IV 指導構想

ネットワークに接続しているコンピュータには、その向こう側にたくさんの人がいることから、利用者は情報社会の一員として「情報モラル」をもって行動する必要があることを認識させたい。

本時では、ネットワークを利用したコミュニケーション手段として『掲示板』を取り扱う。教室内LANでのみ利用できる「掲示板」(教材「情報サイト」内に含まれる)を用いることで、安全な環境の中で掲示板を体験させることができる。生徒の「ネット利用」の意識について、掲示板を使った文字表現として書き出させ、これを基に便利な点とともに注意すべき点について考えさせたい。

また、ネットワークに接続されているコンピュータは、固有番号(IPアドレス)により識別されていることから、掲示板へ書き込みしたコンピュータが特定されることを理解させたい。

さらに、『占いサイト』や『アダルトサイトを模した不正請求サイト』を用いて、個人情報の取扱や怪しいサイトに遭遇したときの対処方法も理解させたい。

VI 本時の学習指導

1 本時のねらい

- (1) 掲示板などネットコミュニケーションについて関心を持ち、適切に対処しようとしている。
【関心・意欲・態度】
- (2) 掲示板などの利点と注意すべき点を知り、適切な関わり方について理解する。
【知識・理解】
- (3) 情報モラルについて考えを深め、情報モラルを守った適切な情報の利用ができる。
【生活を工夫し創造する能力】

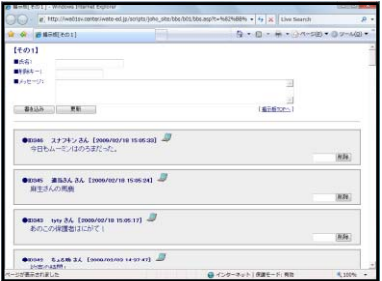

2 評価規準と具体的評価規準



<div>具体的評価規準</div> <div>評価規準</div>	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する (具体的な対応・手だて)
掲示板などネットコミュニケーションについて関心を持ち、適切に対処しようとしている。 【関心・意欲・態度】	掲示板のテーマや話題の流れに合わせて、自分の考えを適切な表現で主張し、積極的に書き込みをしようとしている。	掲示板のテーマに合わせて、自分の考えを適切な表現し、積極的に書き込みをしようとしている。	Bに達していない。 (興味のあるテーマについてどう思うか考えさせながらコミュニケーションに参加できるように支援する)
掲示板などの利点と注意すべき点を知り、適切な関わり方について理解する。 【知識・理解】	掲示板の利点と注意すべき点を、自分の生活と照らし合わせて指摘することができる。	掲示板の利点と注意すべき点を、指摘することができる。	Bに達していない。 (他の人の発表を聞かせ、日常のコミュニケーションと比較させる)
情報モラルについて考えを深め、適切な情報の利用ができる。 【技能・表現】	学習した内容をふまえ、情報モラルが自分や他人に与える影響をとらえながら、適切な情報の利用ができる。	学習した内容をふまえ、情報モラルを守った情報の利用ができる。	Bに達していない。 (情報モラルを守った発信内容を閲覧させ、自分の発信内容を振りかえらせる)

3 使用するコンピュータ教材

- (1) 「情報サイト」スレッド式掲示板、占いの館、大人のアイドル
- (2) 「ネットコミュニケーションのマナー」のPowerPointスライド

4 本時の展開

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (*留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分	1. キー操作確認 2. 学習内容の把握をする	<ul style="list-style-type: none"> キーボード入力スキルを確認する。 ネットの利用頻度やサービスの利用状況を確認する (挙手)。 	★占いの館 展開8「個人情報取扱」に利用する。 ★スライドにより本時の目標を確認する。
展 開 30分	掲示板の利点と注意すべき点について考えよう。		
	3. 掲示板の利点を知る	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板の利点について考え、利用方法を答える。 自分なりの利用方法を考えさせる。 	★「情報サイト」の掲示板を提示して使い方を考えさせる。
	4. 掲示板を利用してみる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を書き込む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 〈テーマ〉日頃の楽しみ！ </div> <ul style="list-style-type: none"> 興味のあるメッセージに返信を書き込む。 	★「情報サイト」掲示板  ●積極的に利用しているか。 *実際に掲示板を体験しての感想を述べさせる。
	5. ネットワークで情報の伝わるしくみを知る	<ul style="list-style-type: none"> サーバに通信情報が全て記録されていることを知る。 発言者や記入内容が特定できることを知る。 	★サーバの記録の一部を提示して誰の発言であるか分かることを説明する。 
	6. 掲示板利用上の注意点を知る	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板の利点と利用上注意すべき点を考えて、答える。 	*注意点を意識して利用するように説明する。
	7. 情報モラルを守った利用を行う	<ul style="list-style-type: none"> しくみと注意点を知ったうえで、情報モラルを守った書き込みをする。 	*他の人とのコミュニケーションであることを説明し、マナーとモラルある書き込みをさせる。 ●適切な内容で書き込んでいるか。

個人情報を守ったサイト利用の仕方を考えよう。			
	8. 有害サイトへの対処方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> 教材「大人のアイドル」により、怪しいサイトに遭遇したときは、ページ内のボタンは操作しないことを知る。 	<p>●怪しいサイトに遭遇したときに適切に対処できたか。</p> 
	9. 個人情報の取扱いについて知る	<ul style="list-style-type: none"> 教材「占いの館」により、入力した個人情報とIP情報により、一元的に記録されることを知る。 	<p>●個人情報の取扱い方法について適切に言えるか。</p> 
終 末 10 分	10. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①自分のことは自分で守る ②他人に迷惑をかけない ③自分の書いたことに責任を持つ ④感情的にならない 今日の学習を生かして、これからどんな行動や生活すべきか考える。 	<p>★「ネットコミュニケーションのマナー」スライドで説明する。</p> <p>* 本時の学習についてプリントに記入させる。</p>

						中－3
校種	小 中 高 特	学年	1 2 3 4 5 6	保護者		
内容	インターネットから受信する情報との適切な関わり方			教育課程	総合的な学習の時間	
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	P C	無線LAN携帯電話
キーワード	有害サイト 占いサイト 個人情報 ネットワークのしくみ					

1 主題名

「インターネットから受信する情報との適切な関わり方について」

2 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増している。2004 年の「佐世保児童殺害事件」では掲示板への書き込み、2007 年 7 月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われた。

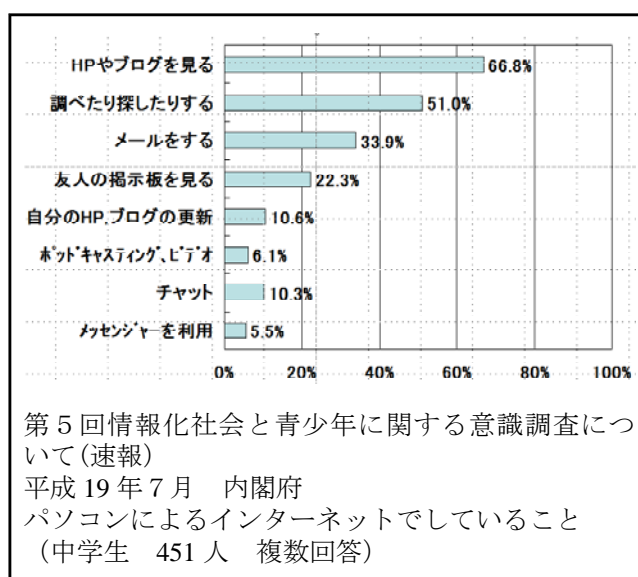
ネット上には、有害情報も氾濫し、児童生徒を誘う出会い系サイト、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、誹謗や中傷を掲載したサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在する。平成 18 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における 18 歳未満の被害児童は全国で 1,153 人に上っている。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができるコンピュータ教材『情報サイト』を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援しているところである。

本日は、児童生徒にとって、より身近にインターネットを感じるツール「携帯電話」を実際に用いて授業を行う。ハード面においては、NEC 製の無線 LAN 対応携帯電話「N900iL」を用いて、独自の無線 LAN (WLAN) システムを構築しており、ソフト面では、本授業実践に向けて岩手県立総合教育センターで開発したものを使用する。

情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材『情報サイト』は、その多くについて取り扱えるように開発している。


今回の授業は、その一例である。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安全と安心の確保」の一助となることを切に願っているところである。



3 今日の学習のねらい

- (1) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「ページを閉じる」ことを学習する。
- (2) 教材の「占いサイト」を利用することで、個人情報を自ら、流出していることを疑似体験する。
- (3) 匿名性が特徴のインターネットですが、「ネットワーク」の科学的なしくみ、特にIPアドレスについて学習し、書き込み等がされたコンピュータや携帯電話が特定することができることを学習する。

4 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	授業者側の意図・留意点																			
導入 10分	1.インターネットの利用状況の確認	・事前アンケート（携帯版）に回答する。	★携帯電話（N900iL）の配布 																			
		・クラス内の傾向を確認する。	★教材「事前アンケート」 <div><div>事前アンケート</div><div>■問1■ 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として最も多いのは？ <div><div><input checked="" type="radio"/> パソコン</div><div><input type="radio"/> 携帯電話</div><div><input type="radio"/> その他</div></div></div></div> ★教材「集計表示」 <div><div>■事前アンケート・集計結果</div><div><div>更新する</div><div>全データ削除</div></div><div>【問1】 普段、インターネットを利用する手段として最も多いのは？<table><tr><td>パソコン</td><td>1</td><td><div></div></td></tr><tr><td>携帯電話</td><td>1</td><td><div></div></td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td><div></div></td></tr></table></div></div> <tr><td></td><td>2.本時のねらい</td><td>・今日の学習のねらいを確認する。</td><td></td></tr> <tr><td></td><td colspan="3"><div>○インターネットの危険性を擬似体験し、危険回避の方法を考えよう ○インターネット上での個人情報を扱う時の注意点を考えよう</div></td></tr> <tr><td>展開 30分</td><td>3.有害サイトの疑似体験（不正請求）</td><td>・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。</td><td>・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。</td></tr>	パソコン	1	<div></div>	携帯電話	1	<div></div>	その他	0	<div></div>		2.本時のねらい	・今日の学習のねらいを確認する。			<div>○インターネットの危険性を擬似体験し、危険回避の方法を考えよう ○インターネット上での個人情報を扱う時の注意点を考えよう</div>			展開 30分	3.有害サイトの疑似体験（不正請求）
パソコン	1	<div></div>																				
携帯電話	1	<div></div>																				
その他	0	<div></div>																				
	2.本時のねらい	・今日の学習のねらいを確認する。																				
	<div>○インターネットの危険性を擬似体験し、危険回避の方法を考えよう ○インターネット上での個人情報を扱う時の注意点を考えよう</div>																					
展開 30分	3.有害サイトの疑似体験（不正請求）	・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。	・「あなたは18歳以上ですか」の問いに、「はい」「いいえ」のいずれを選択しても、「不正請求」に導かれるホームページが存在することに気づかせる。 ・様々な有害サイトが存在すること、携帯電話の利用による被害が多いことも説明する。																			

	<p>★教材「アダルトサイト」</p> 	<p>★教材「不正請求ページ」</p> 
4.有害サイトのしくみと回避方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「閉じるボタン」を利用した危険回避の方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワンクリック詐欺」と呼ばれる有害サイトが存在することにも触れる。
5.「占いサイト」の疑似体験	<ul style="list-style-type: none"> ・「占い」について投票する。 	<p>★教材「ディベートサイト」</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ・「占いサイト」で、「名前」「星座」「メールアドレス」「電話番号」「相性」について、それぞれ体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ自由に利用させる。 <p>★教材「占いサイト」</p> 
6.管理者サイトから見える「占いサイト」のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・「占いサイト」の管理者サイトには、入力された個人情報が記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集された個人情報が、不正請求等の宛先になることにも触れる。

			<p>★教材「情報記録ページ」</p> 
	7.インターネットのくしみ	<ul style="list-style-type: none"> 各自使用している携帯電話の「IPアドレス」を調べ、管理者サイトには記録・保存されていることについての説明を聞く。 	<p>・犯罪を防ぐための手段の一つであり、法的な規制もあることにも触れる。</p> <p>★教材「PC 情報取得」</p> 
終末5分	8.まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話が便利な道具であることを再確認し、ルールやマナーを守って正しく使用することが大切であることを確認する。 事後アンケートに回答する。 	<p>・本時のまとめを行う。</p> <p>★教材「事後アンケート」</p> 
	教材利用の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話利用時の URL 入力は、QR コードをバーコードリーダーにより行う。 バーコードリーダーが読み取りにくいときには、カメラをマクロモードに設定する。 	

【配布物】

- ・学習プリント
- ・事後アンケートプリント
- ・携帯電話操作説明プリント

【使用教材】

- ・無線 LAN 対応携帯電話（N900iL × 40 台 + α）及び無線 LAN（WLAN）サーバシステム
- ・開発教材「情報サイト」ケータイ・バージョン

											中－4	
校種	小 中 高 特				学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	携帯電話の危険性							教育課程				
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト			端末	PC	無線LAN携帯電話		
キーワード	有害サイト 電子メール 個人情報											

1 はじめに

文部科学省が平成21年5月15日に発表した「子どもの携帯電話等の利用に関する調査結果について」において、携帯電話を所有しているのは、小学校6年生の24.7%、中学校2年生の45.9%、高等学校2年生の95.9%と回答している。携帯電話によるメールの利用頻度は学年が上がるにつれて増加している（「1日50件以上」小学校6年生2.4%、中学校2年生19.5%、高等学校2年生13.9%）。また、携帯電話をよく使う子どもは、「就寝時間が遅い」など生活面への影響も見られる。

この調査において「携帯電話の危険性等に関する学習経験がある子どもは、利用マナーが身についている場合が多い。」「学習経験がある保護者は、子どもの使い方への関心・注意を払う割合が多い」というまとめが出されている。

小中学校においては「携帯電話の学校への持ち込み禁止」、高等学校においては「携帯電話の所持の許可制と利用時間や場所の制限」の指導がなされている。しかし、「メールによる言葉の行き違いによるトラブル」「掲示板への誹謗中傷の書き込み」「出会い系やアダルトページ等へのアクセス」「個人情報の漏洩」「著作権・肖像権の侵害」、などの問題への対処に各校とも苦慮している。

そこで、コンピュータ室内で携帯電話の疑似体験を行うことができる「スタモバ」と専用ブラウザを教材として用いて、具体的なトラブル体験をさせながら、携帯電話のしくみについて理解させるとともに、ネット上のルールとマナーについて意識を高めさせ、情報社会との適切な関わり方について考えさせたい。

※ 参考ページ

- 文部科学省「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/05/1266484.htm
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/05/attach/1266542.htm

2 今日の学習のねらい

- （１）携帯電話は便利だけれども危険な道具であることを考えさせる。
- （２）有害なWebページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「もどるボタンを押すこと」や「電源ボタンを押すこと」を体験させる。
- （３）「メール」を例に、管理者側のコンピュータには、いつ、どのコンピュータから、どのような書き込みがされたか記録されていることを学ばせるとともに、迷惑メールへの対処方法（開かず削除）を確認する。
- （４）「占い」の利用により名前や誕生日等の個人情報を流出していることを体験させる。
- （５）ネットコミュニケーションで注意すべき点について考えさせる。

＊「ネット社会や携帯電話の危険性を体験的に気づかせること」を重視していることから、以上のような対処法的な内容を設定しましたが、インターネットを利用する際に大切な力は、個々の「判断力」「自制心」「責任力」と言われています。この３つの力の指導は今後の指導の中でお願いします。

3 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (※留意点 ★教材)
導入 10分	1. コンピュータ操作のスキル確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタモバを起動する。 ・「占い」に名前、誕生日を入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★スタモバ ★スタモバ専用ブラウザiwa809 
	2. 携帯電話の利用状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の利用状況について、アンケートに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「スタモバ」 ・アンケートに回答させる。 
	3. 学習内容の把握をする		<ul style="list-style-type: none"> ★スライドにより本時の目標を確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○携帯電話の危険性を（擬似）体験し、危険回避の方法を考えよう</p> <p>○携帯電話やコンピュータで情報を発信するときのルールやマナーを考えよう</p> </div>		
展開	4. 有害サイトの疑似体験（不正請求）	<ul style="list-style-type: none"> ・「不正請求」のホームページに誘導される有害サイトを体験する。 ・「不正請求」のしくみと危険回避の方法について説明を聞き、「戻 	<ul style="list-style-type: none"> *「はい」「いいえ」のどちらでも「不正請求」に導かれることに気づかせる。

35
分

るボタン」か「電源ボタン」で危険を回避する方法を確認する。



- ・回避方法を体験させる。
- ＊危険なサイトがあることを疑似体験させる。

5. メールの利点を知る

- ・メールの利点について考える
- ・利用方法を考えさせる。

6. メールを利用してみる

- ・互いにメールを送信させる。

★「スタモバ」のメール

- ・最低1回は送信させる。

新規メール作成

アドレス
user01@192.168.1.17

題名
国語の宿題やってきた？

本文
国語の意味調べしてきた？
見せてくれる？

送信 もどる

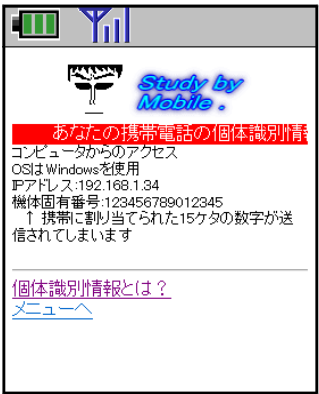
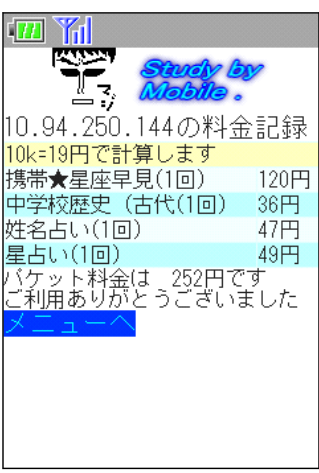
7. 迷惑メールの対処方法を知る

- ・迷惑メールは開かずに削除する。

★管理者画面から迷惑メールを一斉送信する。

迷惑メール			
管理者画面へメニューへ			
種類	全員へ送信	題名	本文
新規入力	送信		
懸賞メール	送信	当選おめでとう(^_^)	新製品ゲームのモニターにあなたが選ばれました。ゲームの感想をメールするだけでソフトを無料で差し上げます。返信メールで名前を登録してください。
入会案内メール	送信	ゲームで遊び放題！	登録無料、退会自由で安心のシステムです。入会すれば、無料でゲーム遊び放題です。まずは空メール返信で登録してください。
出会い系メール	送信	おこづかいをあげます	電話で話をするだけで、今なら12000円分のポイントがもらえます。まずは無料登録してください。ご不要な方はそのまま返信してください。
出会い系メール	送信	会員様向け配信	チャットでデートの会員情報をメール送信希望者にお送りしております。不要な方・18歳未満は返信して下さい。

- ・削除させる・リンクをクリックさせない。

	8. ネットワークで情報の伝わるしくみを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバに情報が全て記録されていることを知る。 ・発言者や記入内容が特定できることを知る。 	<p>★サーバの記録の一部を提示して誰の発言であるか分かることを説明する。</p>
	9. メールの利用上の注意すべき点を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルにならないためのメールの使い方を考えて答える。 	<p>*メールはコミュニケーションの手段であることを説明する。</p>
	10. 占いの怖さを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・「占い」に入力した個人情報記録されていることを知る。 	<p>*個人情報が記録されていることを説明する。</p>
	11. 個人情報を知	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の場合には個人情報送信されていることを知る。 	<p>★個人情報表示の確認</p> 
	12. 利用料金の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況とパケット料が記録されており料金がかかることを知る。 	
終 末 5 分	13. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。 ①自分のことは自分で守る ②他人に迷惑をかけない ③自分の書いたことに責任を持つ ④感情的にならない ・今日の学習を生かして、これからどんな行動や生活すべきか考える。 	<p>★「ネットコミュニケーションのマナー」スライドで説明する。</p> <p>*今日の学習についてプリントに記入させる。</p>

年 番 なまえ

- 1 携帯電話を利用するときどんなことに気をつけないといけないでしょうか。
下に記入してください。

- 2 今日の授業について、次のどれかに○をつけてください。

- ① 携帯電話の危険性がわかりましたか

はい どちらかといえばはい どちらかといえばいいえ いいえ

- ② 携帯電話の危険をさける方法がわかりましたか

はい どちらかといえばはい どちらかといえばいいえ いいえ

- 3 今日の授業を受けて、感じたこと気づいたことを記入してください。

											高－ 1	
校種	小	中	高	特	学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	情報の収集・発信と情報機器の活用							教育課程		科学特講Ⅰ（学校設定科目）		
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト			端末	P C	無線LAN携帯電話		
キーワード	携帯電話　プロフィールサイト　掲示板　個人情報　ネットワークのしくみ											

I 単元名

情報の収集・発信と情報機器の活用

II 指導目標 (単元)

情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こりうる具体的な問題及びそれを解決したり回避したりする方法の理解を通じて、情報社会で必要とされる心構えについて考えさせる。特に、情報発信にあたっての個人の責任、個人情報への配慮を重点的に扱う。

III 指導計画

- (第1時) 自己紹介ページ「プロフィールサイト」の作成をととした、自己表現方法
(第2時) 情報発信者としての責任と個人情報への配慮

IV 指導構想

現在、中・高校生の間では携帯電話を利用した「プロフ (プロフィールサイト)」がコミュニケーション手段の一つとして広まっている。MMD研究所「プロフィールサイトに関する利用動向調査(2007. 11. 1)」の結果によると、10代の男性で37. 1%、10代の女性で47. 2%がプロフを持っており、各年齢層の中でも最も高い割合である。また、昨年度の岩手県内A高校1年生(275名、2007. 11. 30実施)を対象とした調査では、11. 6% (男女合計) の生徒が持っているという結果も出ている。プロフは無料で登録できるものが多く、携帯電話から簡単にアクセスでき、あらかじめ準備された質問項目に答えていくだけで簡単に作成できる自己紹介ページである。プロフの利用増加とともに、意図的に出会い系サイトへ誘導したり、あるいはアクセス数に応じたキャッシュバックを多く受け取るために自ら個人情報を流出させて自分のページへのアクセス数を増加させることを目的に持つものが増えている。更にはさまざまな事件・事故に発展する事例が増加しており、『インターネットの影』になる部分が急速に問題として浮上してきている。

生徒のプロフ利用においては、意識的に個人情報を流出させることはもとより、少なくとも無意識に個人情報を自ら流出させることだけは防ぎたい。これらを指導するにあたっては、実際にプロフを自分の判断で作成させる段階、次にその表現が妥当なものであるかどうかを考えさせる段階を経ることが必要であると思われる。

このような指導を行うためには、各自が所有している携帯電話を利用してインターネット上で提供されているサービスを用いて実際に各自がプロフを作成することが望ましい。しかし、インターネット上のプロフの利用は第三者の目に触れることなどから、かなりの危険を伴うことが予想される。加えて、県内のほとんどの学校では「学校への持ち込み禁止」や「授業以外の時間での使用のみを許可」している。特に高等学校では携帯電話の所有率が高いとはいえ、所有していない生徒に対しての配慮が十分に必要となる。

そこでこれらの代替として、ソフトとハードの両面について手だてを講じる。ソフト面については教室に独自のネットワーク (イントラネット) を構築し、「プロフサイト」システムを設置する。この「プロフサイト」システムは、本授業実践に向けて岩手県立総合教育センターで開発したものである。ハード面においては、NEC製の無線LAN対応携帯電話「N900iL」を用い、独自の無線LAN (WLAN) システムを構築し、先の「プロフサイト」システムと連結させることにより教室内で携帯電話を利用して、プロフを利用できる環境が整う。プロフ作成にあたっては、生徒個々の自己表現の判断を引き出すために、携帯端末を一人一人の生徒各自に配布して利用させたい。このようにソフト面、ハード面を整備した上で、プロフ作成を実際に教室内で体験させ、特に個人情報に関わる表現が他人に対してどのように影響するかを考えさせたい。第1時は「個人情報」に関して各生徒の価値基準でプロフを表現させる。第2時は作成したプロフに第三者からの評価をもらうことにより、情報発信の表現がどのように他へ影響するかを意識して考えさせたい。

V 本時の学習指導


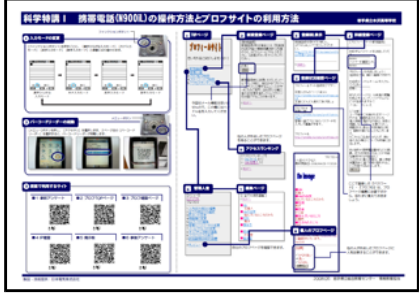
1 本時のねらい

- (1) 高度な通信技術に支えられた携帯サイトを利用した情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】 (第1時)
- (2) 携帯サイトを用いた情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。
【思考・判断】 (第2時)
- (3) 携帯サイトを適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。
【技能・表現】 (第1時)
- (4) 携帯サイトの仕組みを科学的に理解するとともに、プロフィールサイトの危険性を具体的に指摘できる。
【知識・理解】 (第2時)

2 評価規準と具体の評価規準

具体的評価規準 評価規準	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する
高度な通信技術に支えられた携帯サイトを利用した情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。 【関心・意欲・態度】	携帯サイトを利用した本時の課題に積極的に取り組もうとする。	携帯サイトを利用した本時の課題に取り組もうとする。	携帯サイトを利用した本時の課題の取り組みに消極的である。
携帯サイトを用いた情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。 【思考・判断】	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について具体例をあげて指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できない。
携帯サイトを適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。 【技能・表現】	携帯サイトを適切に活用し、積極的に主体的な判断による自己表現ができる。	携帯サイトを適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。	携帯サイトを適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができない。
携帯サイトの仕組みを科学的に理解するとともに、プロフィールサイトの危険性を具体的に指摘できる。 【知識・理解】	プロフィールサイトの危険性を具体的に指摘できる。	プロフィールサイトの危険性を指摘できる。	プロフィールサイトの危険性を指摘できない。

3 展 開
■第1時 (1 / 2)

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 12分	<p>1. 携帯電話やインターネットの利用状況を確認する</p> <p>2. 学習内容の確認をする</p>	<p>・実態調査の結果を確認する。</p> <p>・事前アンケート（携帯版）に回答する。</p> <p>・携帯電話及び無線LAN対応携帯電話の通信のしくみを確認する。</p>	<p>★携帯電話(N900iL)の配布</p>  <p>■自己紹介及び「授業の前に。。。」を説明する。</p> <p>■ブログやプロフの所有状況について、実態調査の集計結果を提示する。</p> <p>★教材「プロフサイト」事前アンケートページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プロフ・事前アンケート</p> <p>■問1■ 普段、インターネットを利用する手段として最も多いのは？ <input checked="" type="radio"/> パソコン <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> その他</p> <p>■問2■ 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？ <input checked="" type="radio"/> 必要だと思う <input type="radio"/> いらなと思う</p> </div> <p>■機器等の写真を用いて説明する。</p>
自己紹介ページ「プロフサイト」を作成してみよう。			
展開 30分	<p>3. プロフの作成手順を知る</p> <p>4. プロフのサンプルページを閲覧する</p>	<p>・新規登録をすることで、ページ作成ができることを知る。</p> <p>・事前に登録してあるサンプルページ [プロフID: 2] を確認する。</p>	<p>★携帯電話・プロフ利用プリント（配付資料2）</p>  <p>■[プロフID] [パスワード] は、「半角英数」モードで入力することに注意させる。</p>

5. プロフを作成する

・各自、自己紹介の内容で「プロフィール」を作成する。

【プロフィールの作成手順】

- ① 登録ページからユーザ登録
- ② 管理者ページからサイト作成
- ③ プレビュー画面で作成状況を確認

6. 他のプロフィールを閲覧する

・他の生徒の作成したプロフィールページを閲覧する。

★教材「プロフィール」TOPページ

プロフィールID:2

203人目のアクセス
最終更新日:2008/05/06 17:11:43



■HN
みっと
■HNの由来
あだなです
■性別
男

- 積極的にサンプルページを閲覧しようとしているか。
【関心・意欲・態度】

★教材「プロフィール」TOPページ

プロフィール

思い切り自己紹介しませんか？

1. [新規登録](#)
2. [管理入室](#)
3. [プロフィールで検索](#)
4. [フリーワードで検索](#)
5. [アクセスランキング](#)

【新規登録】
新規登録される場合には、[利用規約]及び個人情報保護方針に同意のうえ、以下にメールアドレスを入力し、[送信]ボタンをクリックしてください。

新規登録時に送信いただいたメールアドレス宛に、当社から「プロフィールサイト」に関するニュースやサービスのご案内、当社または第三者の広告等を含むメールマガジンをお届けすることがあります。

- 各自、工夫して自己表現するよう説明する。特にも、話し合いをせずに自分の判断で作成することを強調する。
- 登録の際の「プロフィールID」「パスワード」を学習プリント（配付資料1）に記入させる。
- 積極的にページに自己表現しているか。【技能・表現】

★教材「プロフィール」アクセスランキングページ

【アクセスランキング】

1: [002 みっと](#) [79]
2: [009 花巻人](#) [1]

0. [TOP](#) ^

終末 3分	7. まとめ 8. 次時の予告	・インターネットを利用した「情報発信の利点」を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①簡単にページ作成ができる。 ②自分のアイデア次第でオリジナリティを表現できる。 ③大勢の人に向けた情報発信ができる。 </div> ・ネットワーク上の「個人の責任」と「個人情報」について学習することを予告する。	■インターネットを利用した情報発信の利点をスライドで説明する。 ■「情報発信の利点」について学習プリント（配付資料1）に記入する。
機器利用上の留意点		・携帯電話利用時のURL入力、QRコードをバーコードリーダーにより入力する。 ・バーコードリーダーが読み取りにくい時には、カメラをマクロモードに設定する。	

【配布物】

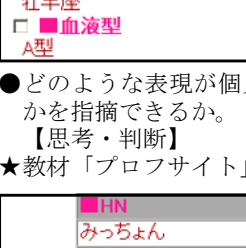
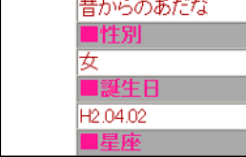
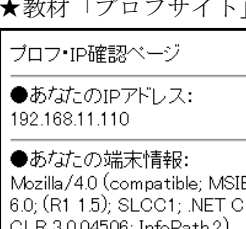
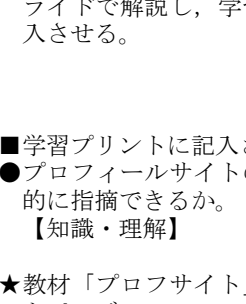
- ・学習プリント（配付資料1）
- ・携帯電話・プロフサイト利用プリント（配付資料2）

【使用教材・教具】

- ・無線LAN対応携帯電話（N900iL×40台＋α）及び無線LAN（WLAN）サーバシステム
- ・開発教材「プロフィールサイト」

■第2時（2／2）

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 3分	1. 学習内容の確認をする	・前時に作成した各自のプロフページがインターネット上に公開しても問題がないかを考える。	■自分のプロフページ内に「個人情報」に相当する表現がないかを意識させる。
作成した自己紹介ページ「プロフサイト」内の表現が適切であるかを確認してみよう。			
展開 35分	2. 他のプロフの閲覧をする	・他のプロフを閲覧して、不適切な表現がないかを確認する。	★教材「プロフサイト」TOPページ及びアクセスランキングページ ■各自の学習プリントにプロフ内の不適切な表現の内容をメモさせる。
	3. 不適切な表現を確認する	・インターネット上に公開した際に問題となる「言葉・表現」を確認し、掲示板に書き込む。	★教材「プロフサイト」掲示板 <div><div>【掲示板】</div><div><div>【投稿】</div><div>■タイトル</div><div></div><div>■本文</div><div></div><div>投稿する</div><div>更新する</div></div></div>
	4. 不適切な表現が他に与える影響を確認	・プロフ上の表現からインターネット上では、どのような影響を与えるかを確認する。	■生徒の意見を集約する。

<p>5. 情報発信の際の注意点の確認</p>	<p>・「確認ページ」を利用して、情報発信の際に注意すべき項目をチェックする。</p> <p>・「IPアドレス確認ページ」を利用して、各自の携帯端末のIPアドレスを確認する。</p>	<p>★教材「プロフサイト」確認ページ</p>  <p>●どのような表現が個人情報にあたるかを指摘できるか。 【思考・判断】</p> <p>★教材「プロフサイト」集計ページ</p>  <p>★教材「プロフサイト」IP確認ページ</p>  <p>■PCや携帯電話からWebページにアクセスすることにより、端末が特定されることを解説する。</p>
<p>終末7分</p>	<p>6. まとめ</p> <p>・情報発信の際の問題点と危険性を確認する。</p> <div data-bbox="488 1308 970 1420"> <p>①個人情報の公開は避ける。 ②著作権を尊重する。 ③自己責任のもとに情報発信する。</p> </div> <p>・今後のインターネット利用について、自分の意見をまとめる。</p> <p>・携帯電話を利用して事後アンケートに回答する。</p>	<p>■情報発信の際の問題点と危険性をスライドで解説し、学習プリントに記入させる。</p> <p>■学習プリントに記入させる。 ●プロフィールサイトの危険性を具体的に指摘できるか。 【知識・理解】</p> <p>★教材「プロフサイト」事後アンケートページ</p> 

機器利用上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話利用時のURL入力は、QRコードをバーコードリーダーにより入力する。 ・バーコードリーダーが読み取りにくい時には、カメラをマクロモードに設定する。
-----------	---

【配布物】

- ・学習プリント（配付資料1）
- ・携帯電話・プロフサイト利用プリント（配付資料2）

【使用教材・教具】

- ・無線LAN対応携帯電話（N900iL×40台＋α）及び無線LAN(WLAN)サーバシステム
- ・開発教材「プロフィールサイト」

						高-2
校種	小 中 高 特	学年	1 2 3 4 5 6	保護者		
内容	情報の収集・発信と情報機器の活用			教育課程	情報A	
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	PC	無線 LAN 携帯電話
キーワード	有害サイト 占いサイト ネットワークのしくみ 掲示板					

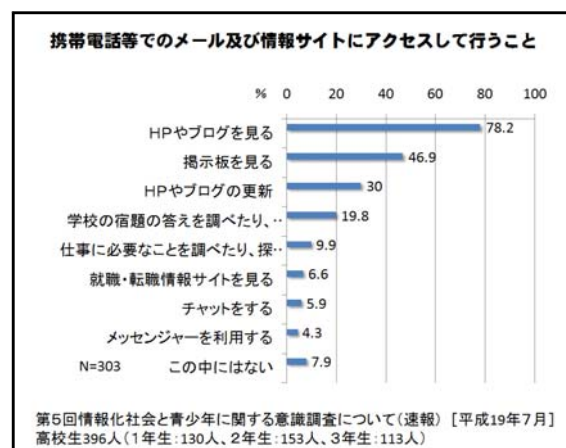
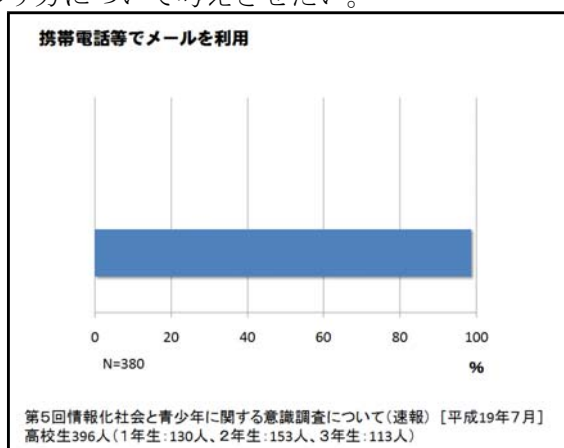
I 主題名 情報の収集・発信と情報機器の活用

II 主題設定の理由

内閣府が平成19年7月に発表した「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査について（速報）」（高校生396人）では、74.5%の生徒がインターネットを利用、95.5%が携帯電話からインターネットを利用、98.7%の生徒が携帯電話でメールを利用、携帯電話から「ホームページ（HP）やブログを見る」が78.2%、「掲示板を見る」生徒が46.9%、「自分のホームページやブログ等の更新をする」は30.0%と報告されている。

授業においてもコンピュータやインターネットを活用する場面が多くなってきているが、利用が進む一方で、「有害なページへのアクセス」、「個人情報情報の漏洩」、「著作権・肖像権の侵害」、「メールや掲示板による言葉の行き違いによるトラブル」など、生徒たちの周りにさまざまな問題が生じている。

そこでここでは特に「情報社会に参画する態度」について取り上げ、体験活動をととして、情報の伝達方法に関して理解させるとともに、ネット上のルールとマナーについて意識を高めさせ、情報社会との適切な関わり方について考えさせたい。



III 指導目標（単元）

情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題及びそれを解決したり回避したりする方法の理解を通して、情報社会で必要とされる心構えについて考えさせる。特に、情報発信にあたっての個人の責任、個人情報への配慮を重点的に扱う。

IV 指導構想

ネットワークに接続しているコンピュータには、その向こう側にたくさんの利用者がいることから、情報社会の一員として「情報モラル」をもって行動する必要があることを認識させたい。

本時では、ネットワークを利用したコミュニケーション手段として『掲示板』を取り扱う。教室内 LAN 内に設置した「掲示板」（教材「情報サイト」内に含まれる）を用いることで、安全な環境の中で掲示板を体験させることができる。生徒の「個人情報」の意識について、掲示板を使った文字表現として書き出させ、インターネットでの取り扱いについて考えさせたい。

また、ネットワークに接続されているコンピュータは、固有番号（IP アドレス）により識別されていることから、掲示板に書き込みしたコンピュータが特定されることを理解させたい。

さらに、『占いサイト』やアダルトサイトから誘導された『不正請求サイト』を用いて、個人情報の取り扱いや怪しいサイトに遭遇したときの対処方法も合わせて理解させたい。

V 本時の指導計画

1 本時のねらい

- (1) 情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】
- (2) 情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。
【思考・判断】
- (3) ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。
【技能・表現】
- (4) ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。
【知識・理解】

2 評価規準と具体の評価規準

<div> <div>具体的評価規準</div> <div>評価規準</div> </div>	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する
情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。 【関心・意欲・態度】	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に積極的に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題の取り組みに消極的である。
情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。 【思考・判断】	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について具体例をあげて指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できない。
ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。 【技能・表現】	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、積極的に主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができない。
ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。 【知識・理解】	個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できない。

3 使用するコンピュータ教材

- (1) 「情報サイト」
 (第1時)「事前アンケート」「伝言メモ」「大人のアイドル」「ディベートサイト」
 「占いの館（管理者ページ）」「PC 情報取得」
 (第2時)「個人情報に関する意志意識アンケート」「スレッド式掲示板（管理者ページ）」
- (2) PowerPoint スライド

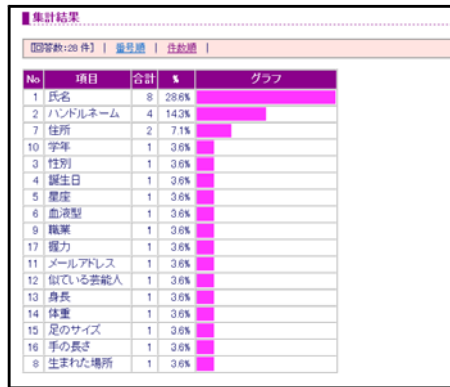


4 本時の展開

【第1時】

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分	1.PC 及び携帯電話等の利用状況を確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報サイト」へログインする。 ・実態調査の結果を確認する。 ・事前アンケートに回答する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Q1 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として多いのは？</p> <p>Q2 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</p> <p>Q3 携帯電話のフィルタリング・サービスを利用していますか？</p> <p>Q4 携帯電話を持ち始めたきっかけは？</p> </div>	<p>■配布した「ユーザカード」の ID とパスワードを入力させる。</p> <p>■ブログやプロフの所有状況等について、実態調査の集計結果を提示する。</p> <p>★教材「事前アンケートページ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事前アンケート</p> <p>■問1■ 普段、インターネット(メールも含む)を利用する手段として最も多いのは？</p> <p><input checked="" type="radio"/> パソコン <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> その他</p> <p>■問2■ 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必要だと思う <input type="radio"/> いらないと思う</p> </div>
	2. 学習内容の確認		★スライドにより本時の目標を確認する。
【目標】 インターネット利用における危険から回避する方法と学ぼう！			
展開 35分	3.インターネットの仕組みを知る	・インターネット及び携帯電話の通信のしくみを確認する。	★スライドにより図示して説明する。
	4.有害サイトへの対処法を知る	・教材「伝言メモ」を開き、URLリンクをクリックして、疑似アダルトサイトを開く。	<p>★教材「伝言メモ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■伝言メモ</p> <p>【伝言メモ: 内容表示】</p> <p>■伝言メモ > ■受信一覧 > ■伝言メモ内容表示</p> <p>Memo ID 104[2008/09/21 19:47:08]</p> <p>送信元 [iwa100]さんから</p> <p>送信先 [全員]さんへ</p> <p>件名 出合いのサークル！！</p> <p>本文 あなたの好みの異性が見つかるかも！！ ここをクリックしてね。 http://192.168.11.30/php_site/web2/adult.html</p> </div> <p>★教材「アダルトサイト」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アダルトサイトの警告</p> <p style="text-align: center;">Adult Web</p> <p style="text-align: center;">♥お・と・な・のアイドルのページへようこそ♥</p> <p style="text-align: center;">秘密の写真・ビデオが見放題!!</p> <p>これより先は、おとなのための秘密のページです。 以下の内容について確認してください。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>警告</p> <p>このページは、18歳未満のアクセスは禁止されています。</p> <p>年齢確認</p> <p>あなたは18歳以上ですか？</p> <p><input type="button" value="はい(18歳以上)"/> <input type="button" value="いいえ(18歳未満)"/></p> </div> <p style="font-size: small;">©2008 電子教育センター The General Education Center of Soke</p> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・怪しいサイトに遭遇したときにページ内のボタンは操作しないことを知る。 ・不当な請求が表示された場合には、基本的に無視することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●怪しいサイトに遭遇したときに適切に対処できたか。【技能・表現】 ■有害サイトが表示された場合には、ページ内のボタン等はクリックせず、「閉じる」ボタンや「戻る」ボタンで対応することを説明する。
4.個人情報の流出状況を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「ディベートサイト」により、「占い」の信ぴょう性を確認する。 ・教材「占いサイト」に個人情報を入力する。 ・教材「占いサイト」へ情報を入力することで、自ら個人情報を流出していることに気づく。 	<p>★教材「ディベートサイト」</p>  <p>●積極的に回答しようとしているか。 【関心・意欲・態度】</p> <p>★教材「占いの館」</p>  <p>★教材「占いの館 管理者ページ」</p> 
5.利用している PC の PC 情報が取得できることを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「PC 情報取得」から「IP アドレス」「OS」「ブラウザ」などの情報が取得できることを確認する。 ・IP アドレスからコンピュータが特定されることを知る。 	<p>★教材「PC 情報取得」</p>  <p>★学習プリントに IP アドレスを記入する。</p> ■管理者ページを提示することで、各個人から入力されたデータが蓄積されていることを確認する。
教材利用上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「情報サイト」には、各生徒に配布した ID カードの ID とパスワードを入力する。 ・疑似有害サイトへの誘導は、「伝言メモ」を利用する。 	

【第2時】

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 5分	1.学習内容の確認		★スライドにより本時の目標を確認する。
展開 30分	【目標】 インターネット上の「個人情報」の扱いについて考えてみよう！		
	2.個人情報についての意識を確認する	<ul style="list-style-type: none"> 教材「意識アンケート」に回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■スライドでプロフのサンプルを提示する。 ★教材「意識アンケート」 
		<ul style="list-style-type: none"> 教材「管理者ページ」でクラス内の集計結果を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「意識アンケート 管理者ページ」  <ul style="list-style-type: none"> ●どのような表現が個人情報にあたるかを指摘できる【知識・理解】
	3.掲示板の活用	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「スレッド式掲示板」 
		<ul style="list-style-type: none"> 管理者ページでどのようなデータが記録されているかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「掲示板 管理者ページ」  <ul style="list-style-type: none"> ■「意識アンケート」結果の上位の項目についての記載を取り上げて説明する。

		<p>・自分の意見を書き込む。</p>	<p>★教材「スレッド式掲示板」</p> <p>●適切な内容で書き込んでいるか。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>●個人情報の取り扱い方法について適切に言えるか。</p> <p>【思考・判断】</p>
終 末 10 分	5.まとめ	<p>・ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。</p> <div> <p>①自分のことは自分で守る</p> <p>②他人に迷惑をかけない</p> <p>③自分の書いたことに責任を持つ</p> <p>④感情的にならない</p> </div>	<p>★スライドで説明する。</p> <p>■本時の学習についてプリントに記入させる。</p> <p>■「ミルグラム効果」について説明する</p>
教材利用上の留意点		<p>・掲示板の書き込み内容を取り上げて、生徒の意見を集約する。</p> <p>・生徒に考える場を提供する。</p>	

											高－3	
校種	小　中 高 特				学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	情報の収集・発信と情報機器の活用							教育課程		情報A		
教材	情報サイト スタモバ　携帯版情報サイト							端末	PC	無線 LAN 携帯電話		
キーワード	有害サイト　占いサイト　ネットワークのしくみ　掲示板											

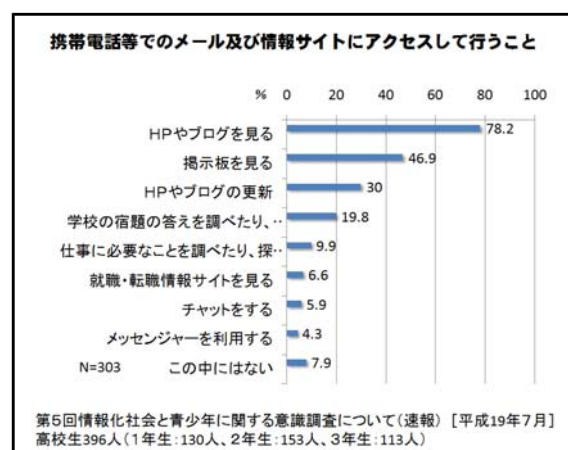
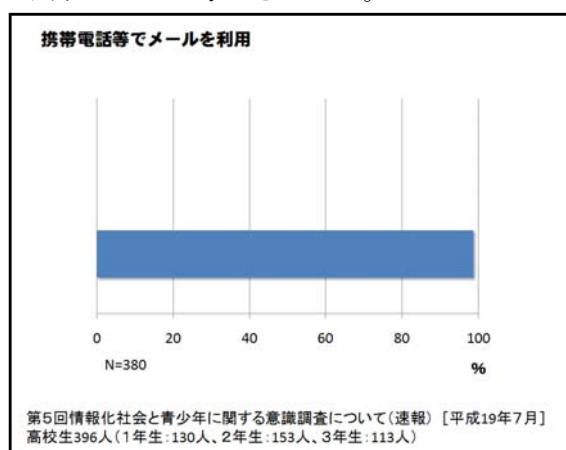
I 主題名 情報の収集・発信と情報機器の活用

II 主題設定の理由

内閣府が平成19年7月に発表した「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査について（速報）」（高校生396人）では、74.5%の生徒がインターネットを利用、95.5%が携帯電話からインターネットを利用、98.7%の生徒が携帯電話でメールを利用、携帯電話から「ホームページ（HP）やブログを見る」が78.2%、「掲示板を見る」生徒が46.9%、「自分のホームページやブログ等の更新をする」は30.0%と報告されている。

授業においてもコンピュータやインターネットを活用する場面が多くなってきているが、利用が進む一方で、「有害なページへのアクセス」、「個人情報情報の漏洩」、「著作権・肖像権の侵害」、「メールや掲示板による言葉の行き違いによるトラブル」など、生徒たちの周りにさまざまな問題が生じている。

そこでここでは特に「情報社会に参画する態度」について取り上げ、体験活動をととして、情報の伝達方法に関して理解させるとともに、ネット上のルールとマナーについて意識を高めさせ、情報社会との適切な関わり方について考えさせたい。



III 指導目標（単元）

情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題及びそれを解決したり回避したりする方法の理解を通して、情報社会で必要とされる心構えについて考えさせる。特に、情報発信にあたっての個人の責任、個人情報への配慮を重点的に扱う。

IV 指導構想

ネットワークに接続しているコンピュータには、その向こう側にたくさんの利用者がいることから、情報社会の一員として「情報モラル」をもって行動する必要があることを認識させたい。

本時では、ネットワークを利用したコミュニケーション手段として『掲示板』を取り扱う。教室内LAN内に設置した「掲示板」（教材「情報サイト」内に含まれる）を用いることで、安全な環境の中で掲示板を体験させることができる。生徒の「個人情報」の意識について、掲示板を使った文字表現として書き出させ、インターネットでの取り扱いについて考えさせたい。

また、ネットワークに接続されているコンピュータは、固有番号（IP アドレス）により識別されていることから、掲示板に書き込みしたコンピュータが特定されることを理解させたい。

さらに、『占いサイト』やアダルトサイトから誘導された『不正請求サイト』を用いて、個人情報の取り扱いや怪しいサイトに遭遇したときの対処方法も合わせて理解させたい。

V 本時の指導計画

1 本時のねらい

- (1) 情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】
- (2) 情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。
【思考・判断】
- (3) ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。
【技能・表現】
- (4) ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。
【知識・理解】

2 評価規準と具体の評価規準

具体的評価規準 評価規準	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する
情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。 【関心・意欲・態度】	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に積極的に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題の取り組みに消極的である。
情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。 【思考・判断】	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について具体例をあげて指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できない。
ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。 【技能・表現】	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、積極的に主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができない。
ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。 【知識・理解】	個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できない。

3 使用するコンピュータ教材

- (1) 「情報サイト」
「事前アンケート」「伝言メモ」「大人のアイドル」「ディベートサイト」
「占いの館（管理者ページ）」「PC 情報取得」
「個人情報に関する意志意識アンケート」「スレッド式掲示板（管理者ページ）」
- (2) PowerPoint スライド

4 本時の展開

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分	1.PC 及び携帯電話等の利用状況を確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報サイト」へログインする。 ・実態調査の結果を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■配布した「ユーザカード」の ID とパスワードを入力させる。 ■ブログやプロフの所有状況等について、実態調査の集計結果を提示する。

展開 35 分		<ul style="list-style-type: none">・事前アンケートに回答する。 <div><div>Q1 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として多いのは？</div><div>Q2 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</div><div>Q3 携帯電話のフィルタリング・サービスを利用していますか？</div><div>Q4 携帯電話を持ち始めたきっかけは？</div></div>	<ul style="list-style-type: none">★教材「事前アンケートページ」 <div><div>事前アンケート</div><div><div>■問1■</div><div>普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として最も多いのは？</div><div><div><input checked="" type="radio"/> パソコン</div><div><input type="radio"/> 携帯電話</div><div><input type="radio"/> その他</div></div></div><div><div>■問2■</div><div>今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</div><div><div><input checked="" type="radio"/> 必要だと思う</div><div><input type="radio"/> いらないと思う</div></div></div></div>
	2. 学習内容の確認		<ul style="list-style-type: none">★スライドにより本時の目標を確認する。
	<div>【目標】 インターネット利用における危険から回避する方法と学ぼう！</div>		
	<div>3.インターネットの仕組みを知る</div> <div>4.有害サイトへの対処法を知る</div>	<ul style="list-style-type: none">・インターネット及び携帯電話の通信のしくみを確認する。・教材「伝言メモ」を開き、URLリンクをクリックして、疑似アダルトサイトを開く。	<ul style="list-style-type: none">★スライドにより図示して説明する。★教材「伝言メモ」 <div><div>■伝言メモ</div><div>【伝言メモ: 内容表示】</div><div><div>■ 伝言メモ > ■ 受信一覧 > ■ 伝言メモ内容表示</div><div><div>Memo ID</div><div>104[2008/08/21 19:47:08]</div></div><div><div>送信元</div><div>[iwa100]さんから</div></div><div><div>送信先</div><div>[全員]さんへ</div></div><div><div>件名</div><div>出合いのサークル！！</div></div><div><div>本文</div><div>あなたの好みの異性が見つかるかも！！ ここをクリックしてね。 http://192.168.11.30/pbo_site/web2/adult.html</div></div></div></div> <ul style="list-style-type: none">★教材「アダルトサイト」 <div><div>アダルトサイトの例</div><div><div>Adult Web</div><div>♡お・と・な・のアイドルのページへようこそ♡</div><div>秘密の写真・ビデオが見放題!!</div><div>これより先は、おとなのための秘密のページです。 以下の内容について確認してください。</div><div><div>警告</div><div>このページは、18歳未満のアクセスは禁止されます。</div><div>年齢確認</div><div>あなたは18歳以上ですか？</div><div><div>はい</div><div>いいえ</div></div></div></div><div><div>Copyright © 1999 - 1999年まで、当サイトは制作されたものの権利、32年。 -</div><div>©1999 栃木県立総合教育センター The General Education Center of Tochigi</div></div></div> <ul style="list-style-type: none">●怪しいサイトに遭遇したときに適切に対処できたか。【技能・表現】■有害サイトが表示された場合には、ページ内のボタン等はクリックせず、「閉じる」ボタンや「戻る」ボタンで対応することを説明する。

4.個人情報の流出状況を知る

・教材「ディベートサイト」により、「占い」の信ぴょう性を確認する。

・教材「占いサイト」に個人情報をを入力する。

・教材「占いサイト」へ情報を入力することで、自ら個人情報を流出していることに気づく。

★教材「ディベートサイト」



●積極的に回答しようとしているか
【関心・意欲・態度】

★教材「占いの館」



★教材「占いの館 管理者ページ」

『情報サイト』 Ver.0.5 管理者ページ

■「占いの館」利用アクセスログ

一覧表示 | 絞り込み検索 | すべて表示

ID	IP	ユーザーエージェント	氏名	年齢	性別	メールアドレス	TTL	利用日時	動作
479	124.201.158	Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows...	name	-	-	-	-	2008/09/18 14:20:59	成功
480	124.198.11.8	Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows...	-	01/01	-	-	-	2008/09/21 19:47:47	成功
481	124.198.11.8	Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows...	-	-	-	19123-4567-89	-	2008/09/21 19:47:50	成功
482	124.198.11.8	Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows...	-	-	-	-	-	2008/09/21 19:48:09	成功

5.利用している PC の PC 情報が取得できることを知る

・教材「PC 情報取得」から「IP アドレス」「OS」「ブラウザ」などの情報が取得できることを確認する。

・IP アドレスからコンピュータが特定されることを知る。

・入力された個人情報と IP 情報等が一元的に記録されていることを知る。

★教材「PC 情報取得」



★学習プリントに IP アドレスを記入する。

■管理者ページを提示することで、各個人から入力されたデータが蓄積されていることを確認する。

6.個人情報についての意識を確認する

・教材「意識アンケート」に回答する。

■スライドでプロフのサンプルを提示する。
★教材「意識アンケート」

■ 個人情報に関する意識

インターネット上に公開する個人情報は、注意すべき事項(確認事項)にチェックを入れて、「回答する」ボタンをクリックしてください。

<input type="checkbox"/> 氏名	<input type="checkbox"/> ハンドルネーム	<input type="checkbox"/> 性別	<input type="checkbox"/> 誕生日	<input type="checkbox"/> 星座	<input type="checkbox"/> 血液型
<input type="checkbox"/> 住所	<input type="checkbox"/> 生まれた場所	<input type="checkbox"/> 職業	<input type="checkbox"/> 学年	<input type="checkbox"/> メールアドレス	<input type="checkbox"/> 似ている芸能人
<input type="checkbox"/> 身長	<input type="checkbox"/> 体重	<input type="checkbox"/> 足のサイズ	<input type="checkbox"/> 手の長さ	<input type="checkbox"/> 腕力	

・教材「管理者ページ」でクラス内の集計結果を確認する。

★教材「意識アンケート 管理者ページ」

■ 集計結果

回答数: 28 件 | 集計日 | 合計 |

No.	項目	合計	%	グラフ
1	氏名	8	28.6%	
2	ハンドルネーム	4	14.3%	
7	住所	2	7.1%	
10	学年	1	3.6%	
3	性別	1	3.6%	
4	誕生日	1	3.6%	
5	星座	1	3.6%	
6	血液型	1	3.6%	
9	職業	1	3.6%	
17	腕力	1	3.6%	
11	メールアドレス	1	3.6%	
12	似ている芸能人	1	3.6%	
13	身長	1	3.6%	
14	体重	1	3.6%	
15	足のサイズ	1	3.6%	
16	手の長さ	1	3.6%	
8	生まれた場所	1	3.6%	

●どのような表現が個人情報にあたるかを指摘できる。【知識・理解】

7.掲示板の活用

・自分の意見を書き込む。

★教材「スレッド式掲示板」

【テーマ】
個人情報流出して困ることは？

■ みんなの掲示板

【趣味について(スレッド式)】

名前:

タイトル:

メッセージ:

投稿キー:

継続的な書き込みを！ 投稿者: 管理人 投稿日: 2008/09/21 20:59:09 (884-476)

どんな書き込みをしてください。

■ 記事No: ■ 前ページ:

・管理者ページでどのようなデータが記録されているかを確認する。

★教材「掲示板 管理者ページ」

「掲示板」 Ver.8.5 管理者ページ

■ ログ表示(スレッド式表示) | 管理者さんがログインしています | 戻る | 一覧 | HOME

No.	IP	ID	名前	アクセス時間	タイトル	メッセージ	警告チェック	備考
1	130.158.11.8	65	管理人	2008/09/21 21:05:25	「掲示板」は？	「掲示板」は？	★なし	○レベル1 ○レベル2 実行 削除
2	130.158.11.8	65	管理人	2008/09/21 21:05:27	名前が...	「掲示板」は？	★なし	○レベル1 ○レベル2 実行 削除
3	130.158.11.8	65	管理人	2008/09/21 20:59:09	「掲示板」は？	「掲示板」は？	★なし	○レベル1 ○レベル2 実行 削除

■「意識アンケート」結果の上位の項目についての記載を取り上げて説明する。

・自分の意見を書き込む。

★教材「スレッド式掲示板」

●適切な内容で書き込んでいるか。
【技能・表現】
●個人情報の取り扱い方法について適切に言えるか
【思考・判断】

【テーマ】
インターネットを利用していく上での注意事項は？

終 末 5 分	8.まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。 <div> <ul style="list-style-type: none"> ①自分のことは自分で守る ②他人に迷惑をかけない ③自分の書いたことに責任を持つ ④感情的にならない </div>	<ul style="list-style-type: none"> ★スライドで説明する。 ■ 本時の学習についてプリントに記入させる。 ■ 「ミルグラム効果」について説明する。
教材利用上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板の書き込み内容を取り上げて、生徒の意見を集約する。 ・ 生徒に考える場を提供する。 	

						高ー 4
校種	小 中 高 特	学年	1 2 3 4 5 6	保護者		
内容	情報社会の課題とその対応			教育課程		
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	P C	無線 LAN 携帯電話
キーワード	携帯電話 占いサイト 有害サイト 掲示板 ネットワークのしくみ					

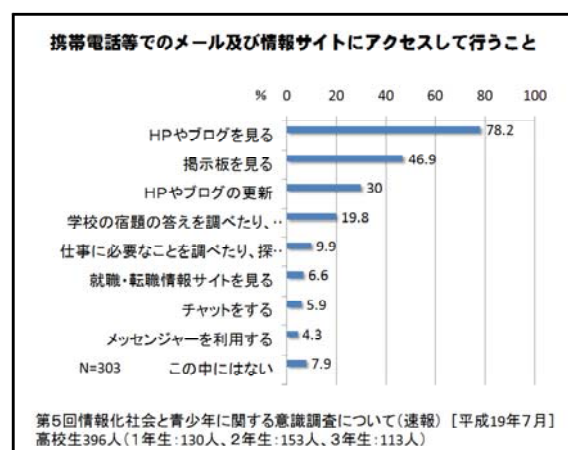
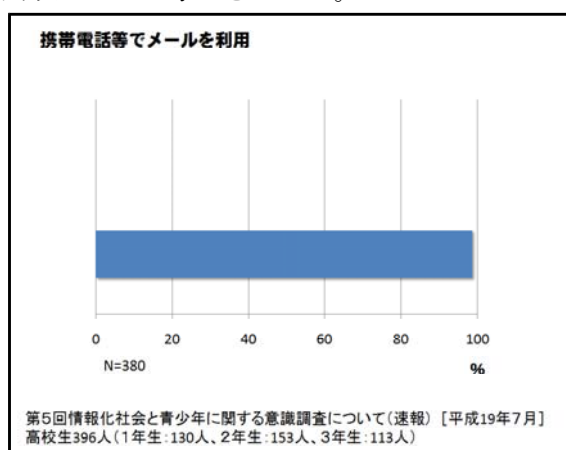
I 主題名 情報社会の課題とその対応について

II 主題設定の理由

内閣府が平成 19 年 7 月に発表した「第 5 回情報化社会と青少年に関する意識調査について（速報）」（高校生 396 人）では、74.5%の生徒がインターネットを利用、95.5%が携帯電話からインターネットを利用、98.7%の生徒が携帯電話でメールを利用、携帯電話から「ホームページ（HP）やブログを見る」が 78.2%、「掲示板を見る」生徒が 46.9%、「自分のホームページやブログ等の更新をする」は 30.0%と報告されている。

授業においてもコンピュータやインターネットを活用する場面が多くなってきているが、利用が進む一方で、「有害なページへのアクセス」、「個人情報への漏洩」、「著作権・肖像権の侵害」、「メールや掲示板による言葉の行き違いによるトラブル」など、生徒たちの周りにさまざまな問題が生じている。

そこでここでは特に「情報社会に参画する態度」について取り上げ、体験活動をととして、情報の伝達方法に関して理解させるとともに、ネット上のルールとマナーについて意識を高めさせ、情報社会との適切な関わり方について考えさせたい。



III 指導目標（単元）

情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題及びそれを解決したり回避したりする方法の理解を通して、情報社会で必要とされる心構えについて考えさせる。特に、情報発信にあたっての個人の責任、個人情報への配慮を重点的に扱う。

IV 指導構想

ネットワークに接続しているコンピュータには、その向こう側にたくさんの利用者がいることから、情報社会の一員として「情報モラル」をもって行動する必要があることを認識させたい。

本時では、ネットワークを利用したコミュニケーション手段として『掲示板』を取り扱う。教室 LAN 内に設置した「掲示板」（教材「情報サイト」内に含まれる）を用いることで、安全な環境の中で掲示板を体験させることができる。生徒の「個人情報」の意識について、掲示板を使った文字表現として書き出させ、インターネットでの取り扱いについて考えさせたい。

また、ネットワークに接続されているコンピュータは、固有番号（IP アドレス）により識別されていることから、掲示板に書き込みしたコンピュータが特定されることを理解させたい。

さらに、『占いサイト』やアダルトサイトから誘導された『不正請求サイト』を用いて、個人情報の取り扱いや怪しいサイトに遭遇したときの対処方法も合わせて理解させたい。

なお、上のグラフが示すとおり、多くの高校生がインターネット端末として携帯電話を用いている現状から、携帯電話の実機に触れて学ぶ機会を授業の中に取り入れたい。

V 本時の指導計画

1 本時のねらい

- (1) 情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。
【関心・意欲・態度】
- (2) 情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。
【思考・判断】
- (3) ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。
【技能・表現】
- (4) ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。
【知識・理解】




2 評価規準と具体の評価規準



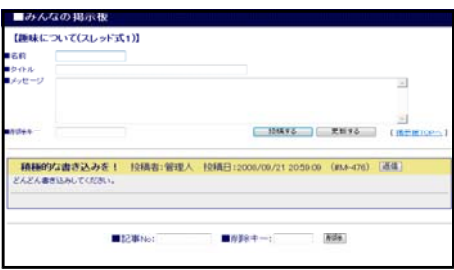
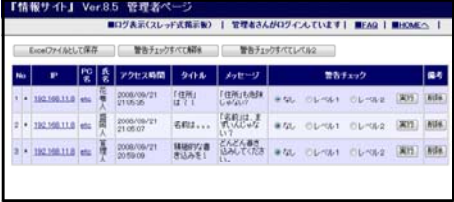
具体的評価規準 評価規準	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する
情報収集・発信に関心を持ち、本時の課題に進んで取り組むことができる。 【関心・意欲・態度】	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に積極的に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題に取り組もうとする。	教材「情報サイト」を利用した本時の課題の取り組みに消極的である。
情報の収集・発信において、注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。 【思考・判断】	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について具体例をあげて指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できる。	注意しなければならない事項や個人情報の取り扱い方について指摘できない。
ネットワークサービス（掲示板）を適切に利用して、主体的な判断による自己表現ができる。 【技能・表現】	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、積極的に主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができる。	ネットワークサービス（掲示板）を適切に活用し、主体的な判断による自己表現ができない。
ネットワークのしくみを科学的に理解するとともに、個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。 【知識・理解】	個人情報の流出による危険性を具体的に指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できる。	個人情報の流出による危険性を指摘できない。

3 使用するコンピュータ教材

- (1) 「情報サイト」
「大人のアイドル」「ディベートサイト」「占いの館（管理者ページ）」「PC 情報取得」
「個人情報に関する意識アンケート」「スレッド式掲示板（管理者ページ）」
- (2) 「情報サイト」モバイル版
「事前アンケート」「大人のアイドル」「占いの館（管理者ページ）」「PC 情報取得」
- (3) PowerPoint スライド

4 本時の展開

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分	1.PC 及び携帯電話等の利用状況を確認	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話版「情報サイト XP」 ・事前アンケートに回答する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q1 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として多いのは？</p> <p>Q2 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</p> <p>Q3 携帯電話のフィルタリング・サービスを利用していますか？</p> <p>Q4 携帯電話を持ち始めたきっかけは？</p> </div>	<p>■配布した携帯電話の電源 ON。 ★教材「事前アンケートページ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事前アンケート</p> <p>■問1■ 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として最も多いのは？</p> <p><input checked="" type="radio"/> パソコン <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> その他</p> <p>■問2■ 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必要だと思う <input type="radio"/> いらないと思う</p> </div> <p>■ Q3、Q4 に着目 「フィルタなし」「自分から」 →大人と同じ責任があることを確認</p>
	2. 学習内容の確認		★スライドにより本時の目標を確認する。
【目標】 インターネット利用で遭遇する危険から回避する方法と学ぼう！			
展開 35分	3.インターネットの仕組みを知る	・インターネット及び携帯電話の通信のしくみを確認する。	★スライドにより図示して説明する。
	4.個人情報の流出状況を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「ディベートサイト」により、「占い」の信ぴょう性を確認する。(PC 版『情報サイト』) ・教材「占いサイト」に入力する。(携帯版『情報サイト XP』) 	<p>★教材「ディベートサイト」</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>●積極的に回答しようとしているか。 【関心・意欲・態度】 ★教材「占いの館」</p>
	5.有害サイトへの対処法を知る	・教材「疑似アダルトサイト」を開く (PC 版『情報サイト』)。	<div style="text-align: center;">  </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・怪しいサイトに遭遇したときにページ内のボタンは操作しないことを知る。 ・不当な請求が表示された場合には、基本的に無視することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「アダルトサイト」 ●怪しいサイトに遭遇したときに適切に対処できたか。【技能・表現】 ■有害サイトが表示された場合には、ページ内のボタン等はクリックせず、「閉じる」ボタンや「戻る」ボタンで対応することを説明する。
6.利用している PC の PC 情報が取得できることを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「疑似アダルトサイト」を開く。(携帯版『情報サイト XP』) 	<ul style="list-style-type: none"> ■携帯電話もネットに接続すれば PC と同様のしくみであることを説明する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「PC 情報取得」から「IP アドレス」「OS」「ブラウザ」などの情報が取得できることを確認する。(PC 版『情報サイト』) ・IP アドレスからコンピュータが特定されることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「PC 情報取得」  <p>★学習プリントに IP アドレスを記入する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・入力された個人情報と IP 情報等が一元的に記録されていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■管理者ページを提示することで、各個人から入力されたデータが蓄積されていることを確認する。
7.個人情報について確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「占いの館」へ情報を入力することで、自ら個人情報を流出していることに気づく。(PC 版『情報サイト』) 	
8.掲示板の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を書き込む 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「占いの館 管理者ページ」 ★教材「スレッド式掲示板」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 【テーマ】 ネットで情報を取り扱うとき注意点は？ </div>	<p>(PC 版『情報サイト』)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者ページでどのようなデータが記録されているかを確認する。(PC 版『情報サイト』) 	<ul style="list-style-type: none"> ★教材「掲示板 管理者ページ」 
		<ul style="list-style-type: none"> ■「意識アンケート」結果の上位の項目についての記載を取り上げて説明する。 ●適切な内容で書き込んでいるか。【技能・表現】 ●個人情報の取り扱い方法について適切に言えるか。【思考・判断】

終 末 5 分	8.まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。 <div> <ul style="list-style-type: none"> ①自分のことは自分で守る ②他人に迷惑をかけない ③自分の書いたことに責任を持つ ④感情的にならない </div>	<ul style="list-style-type: none"> ★スライドで説明する。 ■本時の学習についてプリントに記入させる。 ■「ミルグラム効果」について説明する。
教材利用上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の書き込み内容を取り上げて、生徒の意見を集約する。 ・生徒に考える場を提供する。 	

						高 - 5
校種	小 中 高 特	学年	1 2 3 4 5 6	保護者		
内容	インターネットで受発信する情報との適切な関わり方について			教育課程		
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	P C	無線 LAN 携帯電話
キーワード	有害サイト 占いサイト 掲示板 ネットワークのしくみ					

1 主題名

「インターネットで受発信する情報との適切な関わり方について」

2 はじめに

インターネットや携帯電話が急速に普及する中、ネット上の掲示板や電子メールを使った陰湿ないじめが急増しています。2004 年の「佐世保女児殺害事件」では掲示板への書き込み、2007 年 7 月の「神戸いじめ自殺」では恐喝に電子メールが使われました。

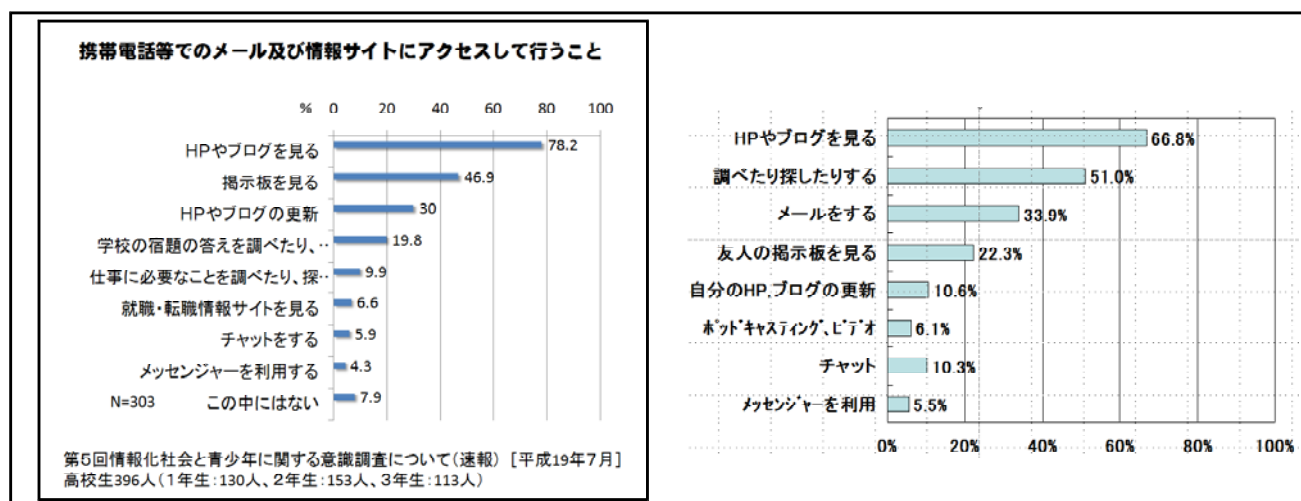
ネット上には、有害情報も氾濫し、児童生徒を誘う出会い系サイト、ポルノや残虐な画像を掲載するサイト、他人の誹謗や中傷を載せたサイト、薬物や麻薬情報を載せたサイトなど、数多く存在します。平成 18 年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件における 18 歳未満の被害児童は全国で 1,153 人に上っています。

こうした状況を踏まえ、岩手県立総合教育センターでは、有害サイトやインターネットのしくみについて、児童生徒が、教室の中で、安全に、体験的に学習することができるコンピュータ教材『情報サイト』を開発し、県内の各学校における情報モラル教育の推進を支援しています。

本日は、情報処理室のネットワークに『情報サイト』を導入し、実際にコンピュータを操作しながら用意された様々なサイトを体験します。また、生徒にとってより身近にインターネットを感じるツール「携帯電話」も実際に用いて授業を進めます。

情報モラル教育の指導内容は「著作権」「個人情報の保護」「電子メールの使い方」「ホームページの正しい使い方」「コンピュータの心身への影響」「携帯電話の使い方」など多岐にわたることから、教材『情報サイト』は、その多くについて取り扱えるように開発しています。


今回の授業は、その一例です。今回の授業が、学校や家庭で情報モラルについて考えを深める契機となり「ネット社会における児童生徒の安全と安心の確保」の一助となることを願っています。



3 今日の学習のねらい

- (1) 有害なホームページに偶然遭遇したときの、危険回避の具体的な方法について、「ページを閉じる」ことを学習します。
- (2) 教材の「占いサイト」を利用することで、個人情報から、流出していることを疑似体験してみます。
- (3) 匿名性が特徴のインターネットですが、「ネットワーク」の科学的なしくみ、特にIPアドレスについて学習し、書き込み等がされたコンピュータや携帯電話が特定することができることを学習します。

4 授業の大まかな流れ

過程	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点 (■留意点 ★教材 ●評価)
導入 10分	1.PC 及び携帯電話等の利用状況を確認	・ 事前アンケートに回答する。 Q1 普段、インターネット（メールも含む）を利用する手段として多いのは？ Q2 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？ Q3 携帯電話のフィルタリング・サービスを利用していますか？ Q4 携帯電話を持ち始めたきっかけは？	■配布した携帯電話の電源 ON ★教材「事前アンケートページ」 (PC 版またはケータイ版) ■事前アンケート ■問1■ 普段、インターネット(メールも含む)を利用する手段として最も多いのは？ <input checked="" type="radio"/> パソコン <input type="radio"/> 携帯電話 <input type="radio"/> その他 ■問2■ 今後、パソコンや携帯電話などの通信端末は生活に必要なか？ <input checked="" type="radio"/> 必要だと思う <input type="radio"/> いらないと思う ■ Q3、Q4 に着目 「フィルタなし」「自分から」 →大人と同じ責任があることを確認
	2. 学習内容の確認		★スライドにより本時の目標を確認する。
	【目標】 インターネット利用で遭遇する危険から回避する方法と学ぼう！		
展開 35分	3.インターネットの仕組みを知る	・ インターネット及び携帯電話の通信のしくみを確認する。	★スライドにより図示して説明する
	4.有害サイトへの対処法を知る	・ 教材「疑似アダルトサイト」を開く。 ・ 怪しいサイトに遭遇したときにページ内のボタンは操作しないことを知る。 ・ 不当な請求が表示された場合には、「無視」することを知る。	★教材「アダルトサイト」 (PC 版またはケータイ版) 

5.個人情報の流出状況を知る（7と連携）

・教材「ディベートサイト」により、「占い」の信ぴょう性に対する傾向を知る。

・教材「占いサイト」に入力する。

・個人情報を入力することで危険に遭遇するケースがないか考える。

6.利用している PC の PC 情報が取得できることを知る

・教材「PC 情報取得」から「IP アドレス」「OS」「ブラウザ」などの情報が取得できることを確認する。

・IP アドレスからコンピュータが特定されることを知る。

・入力された個人情報と IP 情報等が一元的に記録されていることを知る。

7.個人情報について確認する

・教材「占いの館」に入力したことが、自ら個人情報の流出を招いていることに気づく。

■開いたサイトに有害情報があったり、怪しいと感じたりしたときは、ページ内のボタン等はクリックしないことを説明する。

●怪しいサイトに遭遇したときに適切に対処できたか。

★教材「ディベートサイト」（PC 版）



★教材「占いサイト」（PC 版）

●個人情報が流出することで受ける不利益が言えるか。



★教材「PC 情報取得」（PC 版）



★学習プリントに IP アドレスを記入する。

■管理者ページを提示し、各個人の入力データが蓄積されていることを確認する。



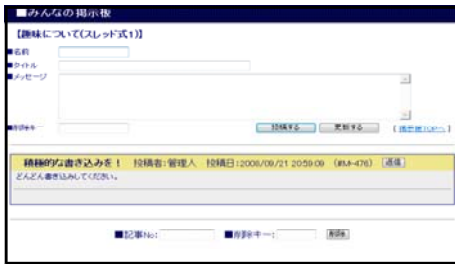

★教材「占いの館 管理者ページ」

●個人情報は自ら流出している場合が多いことを理解したか。

★教材「占いの館」（ケータイ版）

■授業者が演示する

■携帯電話もネットに接続すれば PC と同

			様のしくみであることを説明する。
	8.掲示板の活用	・自分の意見を書き込む。	★教材「スレッド式掲示板」(PC版)
	<div>【テーマ】</div> <div>ネットで情報を取り扱うとき注意点は？</div>		
			★教材「掲示板 管理者ページ」
		・管理者ページでどのようなデータが記録されているかを確認する。	 <ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見を適切に書き込んでいるか。 ●個人情報の取り扱いについて適切に言えるか。
終 末 5 分	8.まとめ	・ネットコミュニケーションで注意すべき点を確認する。	★スライドで説明する
		<div>①自分のことは自分で守る</div> <div>②他人に迷惑をかけない</div> <div>③自分の書いたことに責任を持つ</div> <div>④感情的にならない</div>	<ul style="list-style-type: none"> ■本時の学習についてプリントに記入させる。 ■「ミルグラム効果」について説明する。
	教材利用上の留意点	・掲示板の書き込み内容を取り上げて、生徒の意見を集約する。 ・生徒に考える場を提供する。	

						高－ 6
校種	小 中 高 特	学年	1 2 3 4 5 6	保護者		
内容	I Tがひらく情報社会		教育課程	情報 B		
教材	情報サイト	スタモバ	携帯版情報サイト	端末	PC	無線 LAN 携帯電話
キーワード	電子商取引 ネットオークション ネットワークのしくみ					


1 単元名 第6章 情報技術と社会

第3節 I Tがひらく情報社会 (1 社会・生活の変化)

2 目 標 (単元) 情報社会の進展が社会に及ぼす影響を認識させ、情報技術を社会の発展に役立てようとする心構えについて考えさせる。

(本時) 開発教材「情報サイト」による体験的な学習をとおして、ネットオークションが、①インターネットを利用した一般消費者同士の直接取引による電子商取引であること、②自らの個人情報等を外部に提供する必要があること、③詐欺等の犯罪行為に実際に使われている事例があることの3点について理解させ、インターネットを利用した電子商取引のよさと問題点を考えさせるとともに、その利用において適切に判断できる能力を育成する。

3 展 開

段階	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 7分	1 本時の内容の把握 2 学習課題の把握 ・流通の変化 ・電子商取引の形態	・PCを起動し情報サイトを開く。 ・ネットオークションに関する調査に答える。 ・I Tやネットワークが社会にもたらした変化について事例をあげる。	・情報サイト・アンケートを利用する。 ・代表的なネットショッピングサイト、ネットオークションサイトを提示する。 
展開 38分	3 ネットオークションの利用 ・出品 ・参加 ・落札 ・落札商品の取引 4 オークションのよさと問題点 ・よさについて ・問題点について ・個人情報の取扱 ・関係法令 ・トラブルの防止	・出品者チーム(5組)が出品する。(出品物はコンサートチケット) ・参加者チーム(15組)がオークションに参加する。 ・参加者チームのうち落札者となったチームは出品者と取引する。 ・「よさ」「問題点」をそれぞれ2班ずつ協議する。 ・オークション参加のために提供した個人情報を確認する。 ・トラブルに遭遇したときの対処方法を協議する。	・テーブル毎に6班を作る。 ・2人1組でチームを作る。 ・目的の品物を落札する作戦を考えさせ、実行させる。 ・情報サイト・チャットを使用する。 ・管理画面を提示する。 ・商取引に関わる法律を提示する。 ・トラブルの種類別に班毎で協議させ発表させる。(口頭)

終 末 5分	5 本時のまとめ	・本時の学習に関する感想を記入する。	・情報サイト・授業の記録を利用する。(ネットオークションに関する事後調査を含む)
	6 次時の予告		

4 評価の観点

- ・ネットオークションのしくみを理解し、そのよさを考えることができる。(思考・判断)
- ・商取引に必要な情報を(実習において)適切に受発信できる。(技術・表現)
- ・電子商取引を利用することによって法的な責任が発生することを理解する。(知識・理解)
- ・取引上のトラブルの防止方法や、被害遭遇時の適切な対処方法がわかる。(知識・理解)

										高－7	
校種	小 中 高 特			学年	1	2	3	4	5	6	保護者
内容	ネットワークのしくみとセキュリティ						教育課程		情報C		
教材	情報サイト		スタモバ	携帯版情報サイト			端末		PC	無線 LAN 携帯電話	
キーワード		掲示板 パスワード ネットワークのしくみ									

1 単元名 第2章 デジタル化とネットワーク


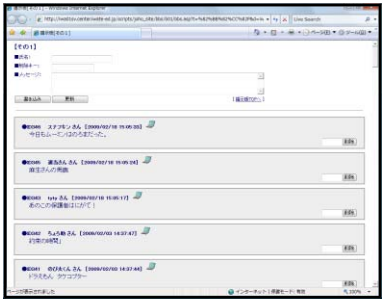
第3節 ネットワークのしくみとセキュリティ

2 目 標

(単元) コンピュータと情報通信ネットワークを活用することで、膨大な情報を収集したり、自ら情報発信したりすることができるようになった。他方、コンピュータを悪用した不正行為等に遭遇する危険性も増大している。そこで、ネットワークのしくみを理解するとともに、ネットワークを安全に利用するための工夫や留意点について考える。

(本時) 教材「情報サイト」による体験的な学習をとおして、①ネットワーク上のコンピュータが IP アドレスで管理されること、②ネットワーク利用者にはユーザ ID とパスワードが発行され認証に使用されること、③ネットワーク管理者はネットワーク管理の基準となる部分の方針(セキュリティポリシー)を決定する責任があること、の3点について理解させ、ネットワークを安全に、かつ責任を持って利用する態度を育成する。

3 展 開

段階	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 7分	1 本時の内容の把握	<ul style="list-style-type: none"> PC を起動する。 Web サイトや掲示板、ブログ等の運用及び利用に関する調査に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> LAN de アンケートを利用する。
	2 学習課題の把握 ・インターネットの通信のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスとドメイン名の対応について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> nslookup で、Web サーバの IP アドレスを調査する。
展開 38分	3 情報サイトにログイン ・パスワードの役割の確認	<ul style="list-style-type: none"> ID、パスワードを用いてログインする。 	<ul style="list-style-type: none"> ID カードを配布する。 数人を指名する。 6人1班(前後2卓)
	4 掲示板の利用 ・テーマ設定 ・投稿 ・閲覧 ・掲示板の特性	<ul style="list-style-type: none"> 「パスワードの安全な管理」 テーマに基づいて投稿する テーマに合致した書き込みを取り上げ、内容ごとにまとめる。 テーマによる投稿・閲覧経験をもとに掲示板による情報交流の特性をまとめる。 	<p>班編成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に書き込ませる。 班ごとに話し合わせる 予想されるトラブルを列挙させる。 

	5 掲示板の管理 ・管理画面の確認 ・管理上の留意点	・管理画面を見て、記録されている情報を確認する。 ・話し合いをもとに利用規定を検討してみる。	・IP アドレスが記録されていることを確認させる。 ・いわて ED ネットセキュリティポリシーを提示する。
	6 掲示板のよさ	・掲示板による情報交流のメリットを考える。	・問題点や留意点を明らかにした上で、掲示板ならではのよさを考えさせる。
終 末 5分	7 本時のまとめ	目標の①～③の内容について確認する。 本時の学習に関する感想を記入する。	情報サイト（授業の記録）を利用する。
	8 次時の予告		

4 評価の観点

- ・インターネットに接続するコンピュータが、IPアドレスによって互いに認識し通信していることを理解する。（知識・理解）
- ・（ネットワーク利用者として）ユーザIDとパスワードを適切に管理できる（思考・判断）
- ・（ネットワーク管理者として）アクセスログを閲覧し利用規定と照合できる（技術・表現）

											高一8
校種	小 中 高 特				学年	1 2 3 4 5 6 保護者					
内容	電子商取引					教育課程					
教材	情報サイト		スタモバ		携帯版情報サイト		端末	PC		無線 LAN 携帯電話	
キーワード	掲示板		パスワード		ネットワークのしくみ						



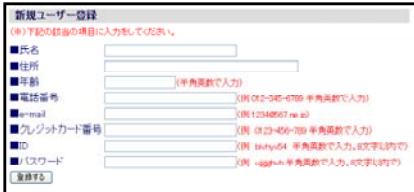

1 単元名 第6章 情報技術と社会

第3節 ITがひらく情報社会 (1 社会・生活の変化)

2 目標 (単元) 情報社会の進展が社会に及ぼす影響を認識させ、情報技術を社会の発展に役立てようとする心構えについて考えさせる。

(本時) 開発教材「情報サイト」による体験的な学習をととして、ネットショッピングが、①インターネットを利用した消費者と企業の間における電子商取引であること (B to C)、②自らの個人情報ネットワークを通じて外部に提供する必要があること、③詐欺等の犯罪行為に実際に使われてしまう事例があることの3点について理解させ、インターネットを利用した電子商取引のよさと問題点を考えさせるとともに、その利用において適切に判断できる能力を育成する。

3 展開

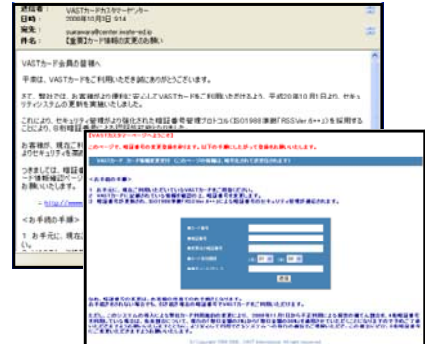
段階	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 本時の内容の把握 2 学習課題の把握 ・流通の変化 ・電子商取引の形態	PCを起動し情報サイトを開く。 インターネットの利用に関する調査に答える。 ITやネットワークが社会にもたらした変化について知る。	・「LAN de アンケート」を利用する。  ・アンケート結果およびプレゼンテーション資料を提示して説明する。 ・代表的なECサイト、電子商店街のサイトを提示する。
展開 30分	3 ネットショッピングの利用	情報サイトの「ネットショッピング」教材を表示させて利用者登録をする。 登録確認のメールの受信を確認する。 登録したユーザ名でログインし、商品を1つ購入してみる。 カードの暗証番号、有効期限を入力し、注文を確定する。 	・支払い方法には、銀行振り込みや代金引換などの方法があるが、ここではクレジットカードで支払うことを説明する。 ・画面の指示に従って間違いなく入力させる。  ・入力した内容に誤りがないか確認させる。このとき「個人情報」について説明し、その取り扱いについても説明する。 ・画面の指示に従い、買い物カゴに入れる→注文する→購入するという一連の取引をする。その際、入力した内容や画面の表示を確認しながら操作することを指示する。 

4 フィッシング詐欺の体験

注文確認のメールの内容を確認する。

カード会社からの暗証番号の変更のお知らせメールの内容を読み、指示に従って変更手続きを行う。

- ・カード会社へ情報が送信され、利用可能なカードが紹介されることを説明する。
- ・注文した内容と異なっていないか確認し証拠として保存することの必要性を説明する。
- ・カード会社からの暗証番号の変更のお知らせメールを開いて確認させる。



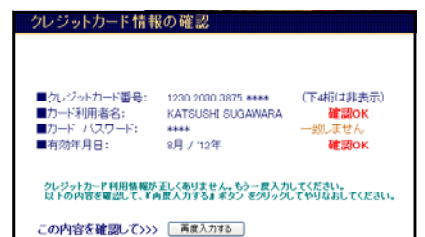
- ・フィッシングサイトへの誘導メールであるが、ここではそのことをあえて知らせずにメールの指示に従って入力させる。



再度、ネットショッピングを行う。今度は、好きな商品を自由に選んで買い物をする。

カードが利用できないことに気づく。

- ・表示されている情報を良く確認して購入をすることを再度指示する。
(会社情報、利用条件、商品内容 等)



暗証番号が変更されていないことに気づき、その理由を考える。

身に覚えのない買い物の受注確認のメールが届いていることに気づき、その理由を考える。

- ・変更した暗証番号ではなく、変更前の暗証番号を入力してみることを指示。
- ・カード情報変更のメールを再度確認して、みることを指示する。リンク先などを確認させる。



5 ネットショッピングの問題点と安全に利用するための知識を身につける

- ・個人情報の取扱
- ・関係法令
- ・トラブルの防止 等

プレゼンテーション画面を見ながら説明を聞き、ネットショッピングの利用にあたって気をつけることを知る。

- ・カード情報変更のWebページが、偽のWebページであったことを伝え、カード情報が第三者に渡ったことを理解させる。

		プレゼンテーション画面を見ながら説明を聞き、学習のポイントをプリントに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料を提示し安全に利用するための注意点を説明する。 ・トラブルになったときの対処方法や相談機関などについても説明し、安心して利用できるしくみがあることを示す。
終 末 10分	6 本時のまとめ 7 次時の予告	本時の学習内容に関する学習プリントに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けて感じたことや自分の考え、わかったことを記述するように指示する。

4 評価の観点

- ・ネットショッピングの利便性について関心を持ち、活用の注意点をふまえながら積極的に教材ソフトを操作する。(関心・意欲)
- ・ネットショッピングのしくみを理解し、そのよさを考えることができる。(思考・判断)
- ・商取引に必要な情報を(実習において)適切に判断し、受発信できる。(技術・表現)
- ・電子商取引を利用することによって法的な責任が発生することを理解する。(知識・理解)
- ・取引上のトラブルの防止方法や、被害遭遇時の適切な対処方法がわかる。(知識・理解)

5 使用する教材

(1) コンピュータ教材

- ・「LAN de アンケート」
- ・「情報サイト」

{	「ネットショッピング」「フィッシングページ」「掲示板」 「ネットショッピング(管理者画面)」 「フィッシングページ(収集情報表示画面)」
---	--

(2) クレジットカード教材「VASTカード」

(3) 学習プリント

(4) 紹介するショッピングサイト

- ・「Amazon.co.jp」(<http://www.amazon.co.jp/>)
- ・「楽天市場」(<http://www.rakuten.co.jp/>)
- ・「YahooJapan ショッピング」(<http://shopping.yahoo.co.jp/>)

岩手県立総合教育センター
2009.11.01